

令和7年度

教育委員会自己点検・評価  
報告書

塩尻市教育委員会

# 目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
中期戦略・年度目標・事務事業評価シート	5
交流文化部	5
こども教育部	32
教育委員会個別計画成果指標等	61
塩尻市教育振興基本計画	61
しおじりこどもまんなかプラン	62
塩尻市社会教育推進計画	67
塩尻市スポーツ推進計画	68
塩尻市図書館サービス計画	69
読書大好き 塩尻っ子プランⅢ	70
令和6年度 塩尻市教育委員会会議等記録	71

## 塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

### (1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

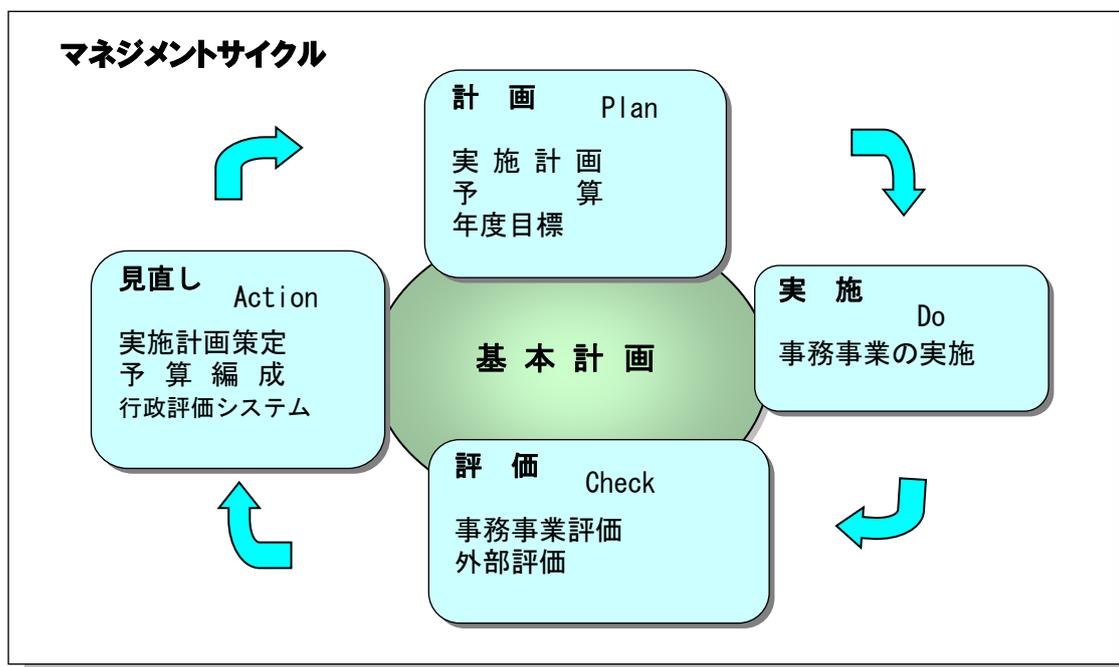
### (2) 制度導入の目的

#### ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

#### イ 質の高い効率的な事務の実現

中期戦略・年度目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



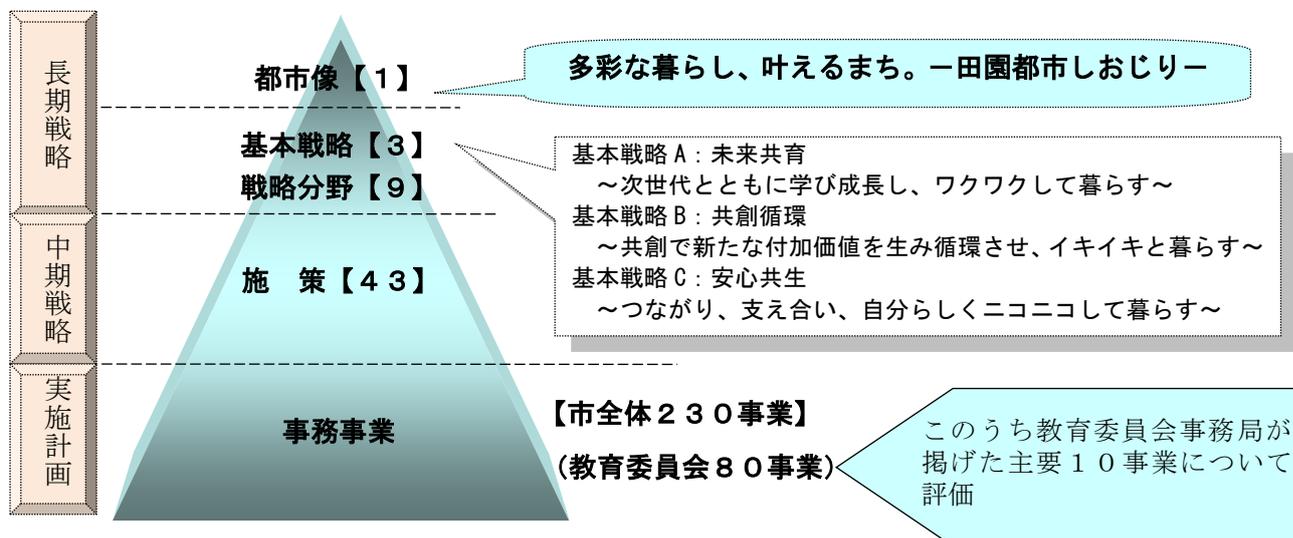
#### ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

### (3) 評価対象事業

教育委員会事務局（交流文化部、こども教育部）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの10事業について自己点検評価を行います。

#### 【第六次塩尻市総合計画の施策体系】



#### ○教委委員会関係事業等の内訳

	行政評価システム (市企画課)	教育委員会	
	事務事業数	部重点方針 (年度当初に作成)	自己点検・評価 対象事業
交流文化部	34	4	5
こども教育部	46	4	5
合計	80	8	10

### (4) 評価のプロセス

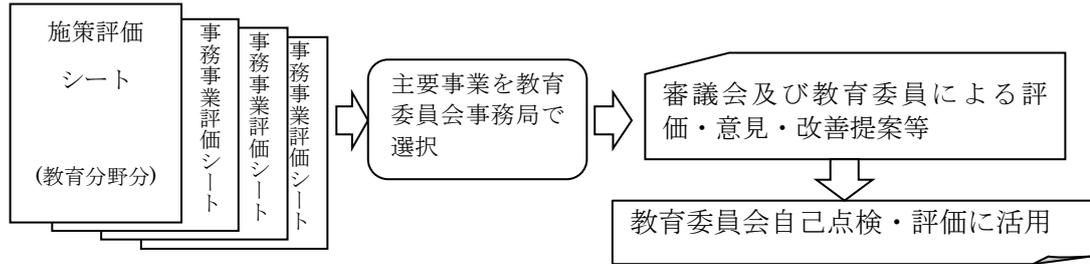
市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。評価に対して担当課により改善内容を策定しております。

#### ■第六次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

実施時期	R7年6月～	R7年9月～11月
評価名	R6事後評価	R7事中評価
目的・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標の分析</li> <li>実施計画への活用</li> <li>次期中期戦略への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の課題抽出</li> <li>改革、改善案の提案</li> <li>実施計画及び予算編成に活用（予算との連動）</li> </ul>

## イメージ図



### (5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、令和7年10月21日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

#### 塩尻市教育振興審議会

##### 1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

##### 2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 令和6年11月から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・藤井 善章 氏 信州大学教職支援センター 教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 准教授
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

第1回 令和7年10月21日

第2回 令和7年12月12日

#### 【参考 関係例規】

##### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

##### ○塩尻市教育振興審議会条例

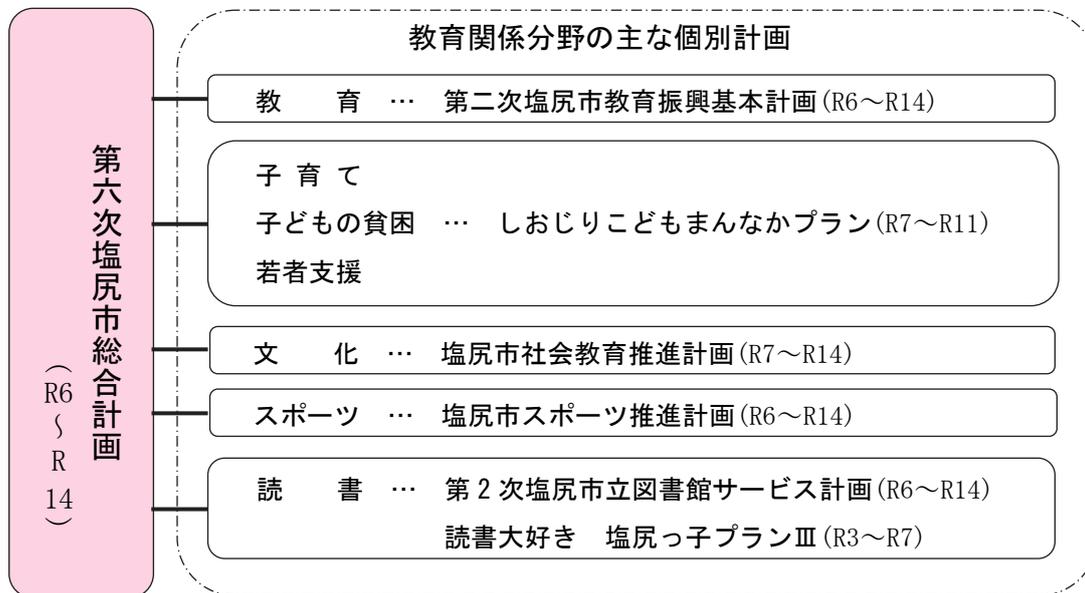
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第六塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。





方針1：生涯学習・芸術文化活動の充実とスポーツ振興による交流の推進

- ・公民館活動ほか社会教育施設を拠点とした学びの充実と芸術文化活動の振興
- ・多彩なスポーツ活動の充実による健康体力づくりと地域の活性化
- ・文化会館大規模改修工事の実施及びスポーツ施設の活用・整備に向けた研究

No.	施策	施策の目指す方向性		
	施策3-1 行事や文化活動で、新たな発見や刺激が得られる機会がある		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館や生涯学習施設では、自主的な交流と学習が行われることで生きがいや楽しみが創出され、活動を通じて仲間がつけられています。また、学びの成果が個人だけでなく、地域にも還元されています。</li> <li>・地域の伝統的な行事や文化活動を通じて、様々な世代間のつながりが生まれ、次の世代へ受け継がれています。</li> <li>・様々な世代にとってこの地域で学んだ経験が、その後の人生に影響を与える原体験になっています。</li> </ul>	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
1	総合文化センター管理事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の拠点施設として幅広く利用されている総合文化センターを適正に維持していくため、施設の管理運営を行うとともに、使用料の適正化に向けた調査・検討を行います。</li> </ul>	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減免基準の明確化を含めて現状を分析し、見直しが必要か否かを検討・決定します。</li> <li>・現行の受益者負担割合が施設・サービスの内容に対して適切であるか再検討するとともに、提供コストに対して使用料収入が不足している場合は見直しに向けた検討を行い、引き上げ額の上限割合などを庁内で調整の上、新たな使用料を決定します。</li> </ul>			
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
公民館事業	社会教育スポーツ課 社会教育係 中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域づくり」「人づくり」「つながりづくり」を3つの目標として、誰もが生涯を通じて意欲的に楽しく学べる公民館活動を推進していきます。</li> </ul>		
		当年度取り組む課題と達成すべき目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動は自治の原点であるため、住民が地域のことを自分事として捉えられる事業や講座運営を行います。</li> <li>・公民館によって活動内容・活動量が異なるため、より活発になるよう公民館同士の情報交換の場の提供や主に中央公民館が地区公民館の支援、地区公民館が分館の支援を行います。</li> </ul>				
上記に記載したもの以外の事務事業				
	二十歳のつどい運営事業	吉田西防災コミュニティセンター運営事業	生涯学習支援事業	学校開放事業
	公民館施設管理事業	北部交流センター管理諸経費		

方針1：生涯学習・芸術文化活動の充実とスポーツ振興による交流の推進

- ・公民館活動ほか社会教育施設を拠点とした学びの充実と芸術文化活動の振興
- ・多彩なスポーツ活動の充実による健康体力づくりと地域の活性化
- ・文化会館大規模改修工事の実施及びスポーツ施設の活用・整備に向けた研究

No.	施策	施策3-2 文化芸術に触れ、活動する機会がある	施策の目指す方向性	・市内や近隣で、優れた文化や芸術に触れる機会が確保されており、豊かな心や感性が表現・共有される場がつけられています。 ・仲間とともに活動する機会があり、文化会館(レザンホール)が文化芸術の鑑賞のきっかけや拠点となって、様々な楽しみ方が生み出されています。
2	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	全国短歌フォーラム事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	・塩尻から短歌の文化を全国に発信することを目的に、全国の愛好者から短歌を募り、選考・選評を行っている全国短歌フォーラム事業について、令和8年度に第40回の節目を迎えるにあたり、発信対象を再検討し、今後の事業の方向性を決定します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			・社会教育スポーツ課と短歌館で各々実施している事業の一元化に向けた検討を行います。 ・各学校で実施している短歌に係る取り組みの現状を把握し、若年層の取り込みについての検討を行います。 ・短歌フォーラムの第40回大会の内容及びその後の方向性についての検討・決定を行います。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	文化会館運営事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	・文化活動の拠点である文化会館の安全かつ快適な環境を提供するため、施設の管理運営と芸術文化鑑賞事業等を行います。 当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			・特定天井耐震化・大規模改修工事にあたり、休館期間と休館中の運営などについて決定し、市民への適時適切な情報発信を行います。 ・指定管理期間の更新にあたり、改修期間を考慮した指定管理料及び指定管理期間を決定します。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	文化会館改修事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	・文化会館特定天井耐震化・大規模改修工事を3か年度にわたる事業期間で実施します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			・プロポーザルに向けて6月までに募集要領等を作成・公表し、8月の審査会を経て優先交渉権者を決定し、契約を行います。 ・策定した基本計画に沿って、CM方式による発注支援、設計段階支援を得ながら、設計・施工一括発注により着手し、翌年度の工事に向けて実施設計を進めます。	
	上記に記載したもの以外の事務事業			
芸術文化事業				

方針1：生涯学習・芸術文化活動の充実とスポーツ振興による交流の推進

- ・公民館活動ほか社会教育施設を拠点とした学びの充実と芸術文化活動の振興
- ・多彩なスポーツ活動の充実による健康体力づくりと地域の活性化
- ・文化会館大規模改修工事の実施及びスポーツ施設の活用・整備に向けた研究

3	施策 3-4 スポーツ・運動に触れ、参加する・見る・支える場所・機会が広がる	施策の目指す方向性		・気軽に参加できる機会や場があることで、世代・性別・国籍・障がいの有無などに関わらず、市民がスポーツや運動に親しみ、自らの心身の健康の維持・増進を意識しています。 ・参加する・見る・支える活動を含め、つながりが広がることでスポーツが生活に定着しています。 ・スポーツや運動の指導者が意欲のある市民に知識や技術を伝えることで、次世代の指導者の育成につながる好循環が起きています。
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
	市民スポーツ振興事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	・「市民みな1スポーツ」を推進するため、スポーツの普及や健康体力づくりの推進、競技スポーツの振興に力を入れた事業を展開します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・部活動地域移行・展開がスムーズに行えるよう協議会での検討及び関係団体等との調整を進めるとともに、指導員となる人材育成に取り組みます。 ・全国大会等へ出場する選手に激励金を交付し、競技力向上と活動支援に取り組みます。 ・市民が行う各種大会やスポーツ活動に対し補助金を交付し、大会補助、競技人口の拡大を図ります。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	体育施設整備事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	・市内体育施設・設備の営繕修繕などの整備を行い、快適な施設環境を維持します。 ・老朽化した体育施設について、中・長期的な整備方針を立案し、公共施設整備計画に反映します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・体育施設などの照明設備LED化を施設区分によりリース方式と工事で実施します。(工事については、R7設計、R8工事) ・市立体育館老朽化診断調査を実施し、整備・廃止等の方針決定に向けた研究を進めます。 ・営繕修繕が必要な施設について、優先順位付けを行い施工します。	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	総合体育館運営事業	社会教育スポーツ課 スポーツ推進係	・総合体育館(ユメックスアリーナ)を指定管理者制度により拠点スポーツ施設として運営し、出合いや交流のきっかけづくりを推進します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・指定管理期間の更新にあたり、選定手続を進め、次期指定管理者を決定します。 ・市民や市内スポーツ団体が利用しやすい施設運営に向けて、予約方法や利用料金などの改善に向けて検討・決定します。	

方針1：生涯学習・芸術文化活動の充実とスポーツ振興による交流の推進

- ・公民館活動ほか社会教育施設を拠点とした学びの充実と芸術文化活動の振興
- ・多彩なスポーツ活動の充実による健康体力づくりと地域の活性化
- ・文化会館大規模改修工事の実施及びスポーツ施設の活用・整備に向けた研究

	当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要	
3	国スポ・全障スポ大会 開催推進事業	国民スポーツ大会 推進室	・国民スポーツ大会の開催に向けて、中央・地方競技団体及び県実行委員会、近隣市等と連携して、開催に向けた準備を進めます。	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			・市内各種団体等に設立趣意への賛同を得て機運を高め、国スポ塩尻市実行委員会を設立します。 ・先催地への視察等により情報提供を受け、開催に向けたハード・ソフトにわたる各基本計画を策定するとともに必要経費を算定します。	
上記に記載したもの以外の事務事業				
	塩尻トレーニングプラザ運営事業	競技力向上事業	健康スポーツ推進事業	体育施設管理運営事業

方針2：博物館の機能強化と文化財の保存活用の推進

- ・文化財保存活用地域計画による市内文化財の保存活用と重伝建地区町並みの維持・整備
- ・博物館施設の連携強化と新平出博物館基本構想・基本計画の事業化に向けた研究
- ・埋蔵文化財発掘調査による文化財の記録保存と公開活用の促進

No.	施策	3-5 文化財などが知られ、保存・活用されるとともに、他分野と横断的につながり、相互に知る機会が得られる	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市にある文化財や博物館等の資料など、貴重な歴史文化遺産が、市民共通の財産として保存・活用、継承されています。</li> <li>・重要文化財民家、史跡平出遺跡、重要伝統的建造物群保存地区、各地域に伝わる無形民俗文化財のお祭りをはじめとした多種多様な文化財や博物館が様々な分野と連携しながら認知されることで、新たな魅力と交流につながっています。</li> </ul>
1	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	文化財管理事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域に存在する文化財の保存活用を図り、地域の歴史・文化を後世へと継承します。</li> </ul>	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財深澤家住宅の公開活用に支障をきたしている害獣(コウモリ)の侵入防止対策を6月より実施し、公開に適切な環境を整えます。</li> <li>・重要文化財小松家住宅の保存活用計画を年度内に策定し、令和8年度の文化庁認定を目指します。</li> <li>・市指定文化財の保存状況等の把握をします。特に市指定天然記念物11件について、現況の確認を行います。</li> </ul>	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	重伝建整備事業	文化財課 文化財係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要伝統的建造物群保存地区に選定されている塩尻市奈良井・木曾平沢の歴史的町並みの保全を図ります。</li> </ul>	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾平沢伝建地区内において、国庫補助事業を活用した建造物の修理事業を4件実施し、町並みの保全を図ります。事業者(建物所有者)の事業実施にあたり、指導・助言等を行いながら、年度内に4件全ての事業が完了できるよう進捗把握および補助金の交付手続き等を行います。</li> </ul>	
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
	平出博物館運営事業	平出博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域遺産が市民共有の財産として保存・継承され、新たな地域文化を創造するために、収集保管・調査研究・教育普及・公開発信等の事業を展開します。</li> </ul>	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の情報発信のためにInstagramやYouTubeを積極的に活用し、年度内にInstagramのフォロワー数1,500人を目指します。投稿に際しては、インバウンドに配慮した英語表記や字幕の活用に努めます。</li> <li>・博物館と地域ブランドのコラボレーションに向けた調査研究を大学機関と連携して行います。</li> </ul>	

方針2：博物館の機能強化と文化財の保存活用の推進

- ・文化財保存活用地域計画による市内文化財の保存活用と重伝建地区町並みの維持・整備
- ・博物館施設の連携強化と新平出博物館基本構想・基本計画の事業化に向けた研究
- ・埋蔵文化財発掘調査による文化財の記録保存と公開活用の促進

当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要	
新平出博物館整備事業	平出博物館	・施設の老朽化等様々な課題を抱える平出博物館を、多くの市民が集い・語らい・交流する博物館として新たに整備します。	
		当年度取り組む課題と達成すべき目標	
		・市民と共に新博物館のあるべき姿を考えるワークショップを開催します。 ・基本設計に向けた設計要件となるデータを得るため、地形測量業務を行います。	
当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要	
埋蔵文化財保護事業	平出博物館	・開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業を実施し、埋蔵文化財の記録保存を行います。	
		当年度取り組む課題と達成すべき目標	
		・住宅地造成に伴う床尾中央遺跡の発掘調査を10月までに行います。 ・令和6年度に発掘調査を実施した内畑遺跡と槻井泉神社北遺跡の発掘調査成果をまとめた報告書を年度内に刊行します。	
上記に記載したもの以外の事務事業			
古文書室運営事業	短歌館運営事業	自然博物館運営事業	町並み保存推進事業
檜川地区文化施設運営事業	古田晁記念館諸経費	平出遺跡公園事業	本洗馬歴史の里運営事業

方針3： 知の交流拠点の進化と市民協働によるまちづくりの推進

- ・市民交流センターと図書館の進化による学びの充実、交流の促進と課題解決への支援
- ・市民団体や関係部署との連携、電子図書館の利用拡大等による読書活動の推進
- ・協働のまちづくりに向けた市民活動団体への支援と市民参画の推進

No.	施策	3-3 本をはじめ新たな情報・知識に触れ探索・体験する機会がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が本を貸し出すだけでなく、知りたいことを効率よく調べ、自身が興味や接点をもっていなかった分野の事を知り、学びを深め、活動の契機を提供する多面的な役割を果たしています。</li> <li>・図書館やそこで提供される情報や知識が様々な分野の活動を下支える基盤となっており、図書館の空間に多様な人々が集まることで新たな交流が生まれています。</li> </ul>
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
		市民読書活動推進事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童の読書活動を推進するとともに、ボランティアを育成します。</li> </ul>
				<p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティアの高齢化や団体の減少に対応するため、読み聞かせやおはなし会に関する講座を9月末までに少なくとも2回開催し、ボランティアの育成及び新規ボランティアの加入促進を図ります。</li> <li>・第3次計画期間の成果と課題のまとめを行い、7月を目途に計画に盛り込む内容を国や県の計画を参考に検討し、第4次塩尻市子ども読書活動推進計画を策定します。</li> <li>・市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」の市内各学校への展開を継続して行うことで、デジタル社会に対応した読書環境の整備に努めます。</li> </ul>
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要		
1		本の寺子屋推進事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や市外居住の方に向け文化的な体験機会を創出し、生涯学習の場を提供するとともに、本市の取り組みを広く周知します。</li> </ul>
				<p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士の交流を生み出す、仮称「本の寺子屋友の会」設置に向け9月末までに交流会を3回は開催し、今後の方向性について決定します。</li> <li>・多くの方に講演会に参加してもらえよう、様々な年代を対象とした行事を企画し、年間を通じて本と人とを繋げる取組を推進します。</li> </ul>

方針3： 知の交流拠点の進化と市民協働によるまちづくりの推進

- ・市民交流センターと図書館の進化による学びの充実、交流の促進と課題解決への支援
- ・市民団体や関係部署との連携、電子図書館の利用拡大等による読書活動の推進
- ・協働のまちづくりに向けた市民活動団体への支援と市民参画の推進

	当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要
1	図書館サービス基盤 整備事業	図書館	・図書館資料の充実と活用、図書館システムによる安定的な運営を行います。
			<p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> ・物価高騰に伴う資料購入数の減少という課題に対応するため、購入資料を一層精査し、寄贈資料の受入による資料の収集に努めます。 ・常に新鮮な情報提供ができるよう、年間を通じて適正な除籍を推進し、書棚の有効活用を図ります。
	当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要
	図書館事業諸経費	図書館	・様々な年代の市民を対象に本に親しむ企画を提供し、図書館利用を拡大します。 ・研修機会を提供することにより、職員の資質向上を目指します。
			<p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> ・第2次塩尻市立図書館サービス計画に沿って、市民や様々な団体・機関と連携した企画事業を積極的に行うとともに、新たな連携先との取組を9月末までに少なくとも1件は実施します。 ・SNSや広報など、様々な手段で継続的に情報発信をすることにより、図書館を利用したことのない方にも情報が届くよう工夫します。 ・各職員が年に1回は研修を受講し、市民の課題解決のための知識や技術を身に付けられるような環境を整えます。

方針3： 知の交流拠点の進化と市民協働によるまちづくりの推進

- ・市民交流センターと図書館の進化による学びの充実、交流の促進と課題解決への支援
- ・市民団体や関係部署との連携、電子図書館の利用拡大等による読書活動の推進
- ・協働のまちづくりに向けた市民活動団体への支援と市民参画の推進

No.	施策	6-1 地域を良くする活動に取り組む人や組織に情報や資源や仲間が集まってくる		施策の目指す方向性 ・「地域を良くしていきたい」「こうすれば塩尻のまちはもっと住み良く楽しくなる」という想いを抱く人や、組織(企業・団体等)などが、すでに活動している実践者や仲間と出会って交流することによって、地域課題を解決する新しい活動や組織が生まれています。 ・すでに活動している団体に、その志や活動計画が共有・共感され、パートナーとして連携(連携)することによって、活動基盤が強化されています。
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
2	市民交流センター交流企画事業	市民交流センター市民活動支援係	・5つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を融合させた事業を実施するとともに、中心市街地のにぎわい創出及び街づくりを担う人材育成を図ります。 当年度取り組む課題と達成すべき目標	・えんぱーく運営管理方針の見直しについて、前年度実施した内部評価の結果を踏まえ、外部評価および先進地における事例調査を実施します。今年度内に新たな運営管理方針を策定し、新たなビジョンのもと、知の交流拠点として進化を目指します。 ・今年度は、えんぱーく開館15周年の節目にあたることから、7月・11月・12月に実施予定の3課連携イベントを記念冠事業として位置づけ、企画・実施します。あわせて、新たな取り組みとして、6月・11月・2月に、子育て世代・学生・シニア世代をそれぞれ対象とした、幅広い世代が楽しめるイベントを展開し、えんぱーくの魅力向上と、賑わいの創出、ブランド力の確立を図ります。 ・利用者の更なる利便性向上のために、貸館業務における支払い方法等のオンライン化及び市民サロン、壁柱利用の予約管理の電子システム化について、次年度のシステム更新に向け、研究を進めます。
			当年度重点化する事務事業	担当課・係
	協働のまちづくり推進事業	市民交流センター市民活動支援係	・まちづくりチャレンジ事業により、市民の自立した自治を目指す主体的な市民公益活動を支援するとともに、まちづくりを担う人材や市民活動団体を育成します。 ・市民や市民活動団体などが協働によりまちづくりや公益活動ができるよう、制度の充実と周知・運用を進め、活動を支援します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標	・まちづくりチャレンジ事業実施団体や市民活動団体の更なる育成のため、団体が抱える課題に耳を傾け、中間支援組織等と連携し、解決及び向上につながる支援を行います。 ・市民活動団体等が、協働によるまちづくりや公益的な活動をさらに活発に展開できるように支援するため、「まちづくりフェスティバル」や各団体が主催するイベントにおいて、団体紹介ブースを設置し、積極的に広報・周知を行います。また今年度は新たな取り組みとして、3市合同による市民活動団体の交流会を12月に開催し、近隣市町村へもPRを広げるとともに、広域的なつながりの創出と団体間の連携強化を図ります。
			上記に記載したもの以外の事務事業	
市民交流センター管理諸経費		市民交流センター情報関連機器運用事業		

方針4：安心して暮らせる社会の実現

- ・女性相談の充実と適切なサポートの実施
- ・人権教育による意識啓発

No.	施策	1-2 家族の形を知る機会や出会う機会がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の制度や企業のサービスにおいても、伝統的な「家族像」のみを前提とせず、世帯構成(ひとり親など)、国籍、性的指向・性自認など多様な家族のあり方に対する正しい知識と公平な配慮が広がっており、ジェンダー平等など差別・ハラスメントの不利益を受けない社会へ変化しています。</li> <li>・結婚を望む人が出会う機会があり、市内へ新しい家族・世帯が生まれています。</li> <li>・高校生など若い年代から性に関する正しい知識が普及しています。</li> </ul>
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
1	女性相談事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の不安や悩み等を解消するため、相談業務を実施するとともに、必要に応じて関係部署及び適切な支援機関につなぎます。</li> </ul>	当年度取り組む課題と達成すべき目標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年にわたり相談業務(DV相談を含む)を実施し、相談者が安心して生活できるように寄り添います。</li> <li>・困りごとの相談窓口があることを市民に広く周知し、利用を促します。</li> </ul>	
			上記に記載したもの以外の事務事業	
	社会人権教育推進事業			

方針4：安心して暮らせる社会の実現

- ・女性相談の充実と適切なサポートの実施
- ・人権教育による意識啓発

No.	施策	2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。</li> <li>・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。</li> <li>・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんだり、心身や技術を鍛える機会が揃っています。</li> </ul>
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
2	青少年育成事業	社会教育スポーツ課 社会教育係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成を推進し、地域における児童生徒の自主性及び社会性の向上を図るため、青少年に対する街頭指導や見守り活動、子ども会育成会活動の支援等を行います。</li> </ul>	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成委員の体制変更に対応して、見守り活動などを改善します。</li> <li>・子ども会育成会に活動補助金を交付し、青少年の健全育成を推進します。</li> </ul>	
上記に記載したもの以外の事務事業				
	青少年育成施設運営事業			

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	公民館事業			担当課	社会教育スポーツ課			施策	3-1			
目的	対象	市民						新規/継続	継続			
	意図	生涯学習を推進すると共に地域連携を更に深めるための仕掛けづくり						会計区分	一般			
年度別事業内容(手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度					
	○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進 ○分館活動の支援			○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進 ○分館活動の支援			○学級講座の開催 ○地区公民館事業の推進 ○分館活動の支援					
事業費・財源	決算額	(千円) 42,906		予算額	(千円) 43,482		計画額	(千円) 33,188				
	地区公民館事業負担金	27,612		地区公民館事業負担金	27,679		地区公民館事業負担金	27,709				
	学級講座講師謝礼	1,062		学級講座講師謝礼	1,100		長期休暇事業負担金	1,031				
	その他	2,366		その他	3,008		学級講座講師謝礼	1,100				
							その他	3,348				
	人件費(会計年度任用職員) 11,866			人件費(会計年度任用職員) 11,695			人件費(会計年度任用職員)					
	特定	2,850	一般	40,056	特定	2,010	一般	41,472	特定	2,698	一般	30,490

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	A
	有効性	4	高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	✓
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	✓
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	

今後の方向性							
成果	拡充		④		②	✓	①
	現状維持		③		⑤		
	縮小		⑥				
	休廃止	⑦					
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・分館役員が一堂に会する公民館研究集会では、全体会で4つの分館が事例発表をしたところ、好評であった。その後の分科会でも、他地区の分館同士のつながりができ、互いに活動を見学したり、情報交換をしたりする分館があり、分館活動推進の一助となった。</p> <p>・中央と地区館、地区館と地区館との連携講座が増加するだけでなく、主事同士で声を掛け合い、講座の手伝いをすることで、情報交換ができ、新たな講座の計画・実施も増加してきた。</p>	<p>・長期休暇の子どもの居場所づくりとして、学習ひろばを実施する地区館が増加してきたが、予算や人手に限りがあるため、運営に苦慮している。他部署と連携してより良い受入体制作りが必要となる。</p> <p>・中央公民館主催、地区公民館共催で行っているサマースクール公民館講座は、年々参加者が増加傾向にあり、申込者全員に受講してもらいたいが、定員の都合で落選となる参加者が多くなってしまった。講座内容を見直し、可能な限り全員が受講できるようにしていく。</p>	<p>・通常の公民館事業負担金とは別に、長期休暇事業負担金を加算する。【負担金+1,061】</p> <p>・講師を招く講座が多くなったことに加え、近年の物価上昇も影響し、食糧費が不足し予算流用で対応した。講師を招かなくても済む講座も計画しているが、普段体験できない講座を計画する場合、講師を招くことも必要となり、昼食やお茶を提供するため食糧費を増額したい。【+9千円】</p> <p>・分館活動推進のため、中央、地区公民館による継続的な分館支援を行う。</p>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	公民館事業	課名	社会教育スポーツ課
-------	-------	----	-----------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目		計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
地区公民館事業負担金【拡大】		27,709		27,709		27,709
長期休暇事業負担金【新規】		1,031		1,031		1,031
学級講座講師謝礼		1,100		1,100		1,100
その他		3,348		3,348		3,348
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
人件費(会計年度任用職員)				0		0
事業費合計		33,188	+0	33,188	+0	33,188
財源内訳	国庫支出金	母子家庭等対策総合支援事業補助金	688	688	688	688
	県支出金	( 名称 )		0	0	0
	地方債	( 名称 )		0	0	0
	その他	公民館使用料等	2,010	2,010	2,010	2,010
	一般財源		30,490	+0	30,490	+0

○評価指標

評価指標(単位)	公民館事業参加人数(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		8,951	7,617	
実績値(事後評価)	22,986	26,625		
目標値		25,000	25,500	26,000
(事後評価)指標実績値の要因分析	・地区公民館同士の共催事業が増加したことや、夏休み期間中の学習ひろばを実施する地区館が増加したことにより、参加人数が増加した。			
評価指標(単位)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-		
実績値(事後評価)	-			
目標値				
(事後評価)指標実績値の要因分析				

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<p>・中央公民館では175回の講座を実施し参加者延べ2,624人、地区公民館では912回の講座を実施し参加者延べ24,001人であった。</p> <p>・子どもたちの長期休暇期間では、地域住民や団体と協力して、学習をする場や食事の無償提供する場づくりを行った。</p> <p>・コミュニティ・スクールと連携し、事例発表やパネルディスカッションなどのイベントを行い、学校教育、社会教育関係者、また子どもからシニア世代まで幅広い世代に公民館活動をPRできた。</p>	<p>・各講座、事業ごとに目標を定めて、その目標達成手段として事業実施を進めることができた。</p> <p>・公民館同士、地域内の団体や住民、また、庁内関係部署や小中学校、社協などと連携し、各テーマについて学ぶ講座を実施できた。</p> <p>・地域でのゆるやかなつながりの場として、公民館事業を通して、社会教育の土壌づくりに寄与した。</p>	<p>・地域に関わりのない住民が、地域のことを自分事として捉えられるきっかけづくり、また、地域に気軽に出て来られる場づくりを継続して実施していく。</p> <p>・分館活動がより活発になるよう、中央公民館、地区公民館の支援方法について検討していく必要がある。</p> <p>・公民館活動の質は、公民館主事等職員の力量による部分が大きいいため、更なる力量形成に努める必要がある。</p>

作成担当者	交流文化部	中央公民館	職名	主任	氏名	中野 友美	連絡先(内線)	3141
最終評価者	社会教育スポーツ課長	氏名	上村 英文	担当係長	氏名			

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>分館・地区館・公民館は、講座やイベント、学習広場やサマースクール公民館などを通じて、地域コミュニティと子どもの居場所として定着しつつあります。</p> <p>一方で、担い手による活動の差、人員や財源の厳しさ、人手不足・場所不足などの課題があり、公民館同士・地域・学校・高校等と連携し、多様な人材で支える、誰もが気軽に利用できる持続可能な地域拠点になることを期待します。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他地区の分館主事同士のつながりが生まれ、情報交換を通じて、分館活動が活性化し、有意義な取り組みが展開されている点を評価します。</li> <li>・ 各種講座や公民館研究集会の積極的実施が地域住民の交流と地域づくりにつながっていると思われます。引き続き、地域になくてはならない基盤のひとつとして公民館活動が展開されることを期待します。</li> <li>・ 地区公民館同士や庁内関係部署等の連携が多く見られるようになり、地域住民や団体と協力して事業実施することで、あらゆる世代が参画できていることは、評価できます。</li> </ul>
改善提案等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者が増加傾向であるということは非常に喜ばしいことです。定員の拡充や、人気の高い講座の複数回開催など、さらなる工夫を凝らし、参加者の多様なニーズに柔軟に対応していただければと存じます。</li> <li>・ 子どもの居場所づくりに限らず、地域の社会教育の拠点としてさまざまな人が継続的に関わることのできるよう、より具体的な人材確保や仕組みづくりを望みます。</li> <li>・ 公民館事業に参画している世代の構成割合を分析して、参画が少ない世代の原因を把握して更なる参画を促す方策を模索していただきたい。</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会状況の変化に伴い既存の地区公民館事業負担金の再点検をすることが必要です。公民館活動が活発な地区館には、相応の支援策を検討いただきたい。</li> </ul>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座等の定員については、会場の広さ、材料の準備等に限りがあるため、定員を増やすことには限界がありますが、参加者が増加傾向にある、「里山事業」や「サマースクール公民館」は、来年度も参加者のニーズに応えるべく、内容を充実させながら実施をします。</li> <li>・ 子どもの居場所づくりについては、来年度新たに設ける負担金を活用し、講師等の人材確保をしながら、長期休みの子どもの居場所づくりを継続できるよう努めます。</li> <li>・ 公民館事業への参画については、SNS等の発信を継続し、講座の報告だけでなく参加者募集も発信するなど工夫をし、参画が少ない20～40代の参加増加を目指します。また参画が少ない世代がどのような事業を求めているのか情報収集に努めます。</li> <li>・ 地区公民館事業負担金については、地区公民館長等の意見も伺いながら、今後の支援策の研究をしていきます。</li> </ul>
-----------	---

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	図書館サービス基盤整備事業				担当課	図書館				施策	3-3	
目的	対象	市民、図書館利用者、団体、企業						新規/継続	継続			
	意図	図書館資料の充実と活用、図書館システムによる安定的な運営						会計区分	一般			
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	○図書館電算機器使用料 ○図書データ整備 ○情報資料の購入				○図書館電算機器使用料 ○図書データ整備 ○情報資料の購入 ○システム改修(カードレス化)				○図書館電算機器使用料 ○図書館システム更新 ○図書データ整備 ○情報資料の購入			
事業費・財源	決算額	(千円) 60,683		予算額	(千円) 59,620		計画額	(千円) 57,766				
	図書館システム使用料	21,290		図書館システム使用料	21,291		図書館システム使用料	16,912				
	図書データ作成委託料	1,190		図書データ作成委託料	1,595		図書データ作成委託料	1,727				
	図書購入費	29,988		図書購入費	28,995		図書購入費	28,995				
	電子図書館協働運営事業負担金	248		電子図書館協働運営事業負担金	249		電子図書館協働運営事業負担金	250				
	その他	7,967		その他	7,490		その他	9,882				
	人件費(会計年度任用職員)	0		人件費(会計年度任用職員)	0		人件費(会計年度任用職員)	0				
特定	1,014	一般	59,669	特定	1,014	一般	58,606	特定	1,014	一般	56,752	

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・書籍や雑誌の値上げが止まることなく続いており、昨年度と同程度の上昇率で計算すると書籍は約200点、雑誌は約200点購入数が減少する。選書を熟考し、質や量が落ちないように努力しているが、高額なレファレンス資料や統計資料など、図書館サービスに必要な資料も購入を断念せざるを得ない状況となっている。</p> <p>・利用者の声を拾い、統計も細かく取るなどしながら、蔵書構成の参考にしていく。</p>	<p>・図書館システムの更新に向けて、必要となる情報の収集や方針の検討・決定などを行う必要がある。</p> <p>・主要な選書ツールである冊子「週刊新刊全点案内」が来年度大幅に値上げされるため、選書方法のWeb移行等、検討を行う必要がある。</p> <p>・市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」の第1期の5年間で終了することに伴い、県立長野図書館ほか県内市町村と連携して第2期に向けた準備を進める必要がある。</p>	<p>・市民の叶えたい暮らし実現の一助となるよう、さまざまな知識へのアクセスのしやすさを保障することとあわせて、多様な市民の要求や変化の早い社会状況に対応するため、市民の共有財産としての図書館資料を充実させる必要がある。また、情報基盤を整え更新していくためにも、資料費は現状を維持する必要がある。</p> <p>・図書館システムの更新については、再リースにより予算を抑える方向で検討を進めたい。【▲4,379】</p> <p>・デジとしよ信州事業は、単独で電子図書館を導入するより予算の負担が少ないため、今後も継続して参加していきたい。</p> <p>【備品修繕料+1,430】</p>

第1次評価

第2次評価

○事中評価

評価視点	妥当性	3	やや高い	総合評価	A
	有効性	4	高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	✓
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	✓

今後の方向性					
成果	拡充		④	②	①
	現状維持		③	⑤	✓
	縮小		⑥		
	休廃止	⑦			
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大	

事務事業名	図書館サービス基盤整備事業	課名	図書館
-------	---------------	----	-----

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後	
図書館システム使用料	16,912		16,912		16,912	
図書データ作成委託料	1,727		1,727		1,727	
図書購入費	28,995		28,995		28,995	
電子図書館協働運営事業負担金	250		250		250	
消耗品費	6,607		6,607		6,607	
備品修繕料【新規】	1,430		1,430		1,430	
その他	1,845		1,845		1,845	
			0		0	
人件費(会計年度任用職員)			0		0	
<b>事業費合計</b>	<b>57,766</b>	<b>+0</b>	<b>57,766</b>	<b>+0</b>	<b>57,766</b>	
財源内訳	国庫支出金 (名称)		0		0	
	県支出金 (名称)		0		0	
	地方債 (名称)		0		0	
	その他 広告料、システム使用負担金	1,014		1,014		1,014
	一般財源	56,752	+0	56,752	+0	56,752

○ 事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料を購入し、資料の充実を図った。</li> <li>・情報の古い資料などの除籍を進め、情報提供基盤の強化を行った。</li> <li>・図書の書誌情報データ、雑誌視聴覚資料データの作成委託を行った。</li> <li>・図書館システムを活用して迅速な資料検索・調査対応と提供を行った。</li> <li>・本館の長期休館中は、えんぱーく内に臨時窓口を設けるとともに、広丘図書館及び分館に本館の資料の一部や新着書を配置し、巡回を促す取組を行うなど、サービスの維持、情報提供に努めた。</li> <li>・市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」について、中学校での利用登録を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズや社会情勢等を鑑みながら図書館資料を充実させ、市民の知る権利を守り、叶えたい暮らしを応援するための情報提供基盤を強化した。</li> <li>・図書データの作成委託でシステムへの資料登録を効率的に行い、迅速な資料提供ができた。</li> <li>・本館の長期休館中、広丘図書館や各分館の個人貸出資料数が最大で1.3倍増加した。また、団体貸出サービスをに力を入れ、過去3番目に多い貸出数となった。</li> <li>・本館が長期休館していたが、市民一人あたりの貸出数は約8.3冊と、予想を上回る数だった。(参考:令和5年度の県内市の上位の実績 塩尻市9.8冊、安曇野市7.6冊、伊那市6.9冊、飯田市6.6冊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い市民ニーズをはじめ、多様な需要に対応するための資料や情報の充実を随時図っていく必要があるが、資料全体の価格が上昇し続けているため、購入できる資料数が減っていくことが考えられる</li> <li>・令和8年度の図書館システムの更新に向けて、機能の検討等準備をしていく必要がある。</li> <li>・デジとしよ信州を広く市民に周知し、利用登録を拡大するとともに、学校での活用充実について検討していく必要がある。</li> </ul>

○ 評価指標

評価指標(単位)	新規購入図書回転率			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-	2.7	
実績値(事後評価)		4.4		
目標値		5.0		
(事後評価) 指標実績値の要因分析	・本館が長期休館していた分、利用者数、貸出数ともに減少した。			
評価指標(単位)	市民の実貸出利用率(%)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-	10.3	
実績値(事後評価)		13.3		
目標値		14.9		
(事後評価) 指標実績値の要因分析	・本館が長期休館していた分、利用者数、貸出数ともに減少した。			

作成担当者	交流文化部	図書館	職名	係長代理	氏名	北澤 梨絵子	連絡先(内線)	4106
最終評価者	館長	氏名	矢澤 昭義	担当係長	副館長	氏名	小松 久美	

## ○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>塩尻市立図書館は、丁寧な電話連絡などきめ細かなサービスにより、市民一人あたりの貸出数が多く、魅力ある図書館として高く評価されています。一方で、物価高騰により書籍・雑誌の購入数減少が避けられない中でも、市民ニーズや市の特色を踏まえた選書を充実させ、満足度や貸出数の維持が求められています。</p> <p>デジとしょ信州については、学校での活用を一層進めることで、本に触れる機会を増やしたいという期待がある一方、利用登録者数が伸び悩んでおり、利点の積極的な発信と認知度向上が課題です。返却の手間が省けることや、隣接市町村との新書籍の分配購入・回し読みなどにより、限られた予算の中でサービスを維持・発展させていく工夫を期待します。</p>
-------------	---

## ○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館資料の充実を図り、情報提供基盤の強化に継続的に取り組まれている点を評価します。</li> <li>・ 市民一人あたりの貸出数も多く、本事業が効果的に実施されている証左と思われます。図書館は市民の文化的な生活に欠かせない資源であり、今後も魅力的な図書館運営を継続してください。</li> <li>・ より良い図書館づくりのため、いろいろな仕掛けづくりをして、身近に親しむ図書館を利用者とともに取り組んでいることは評価します。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状と同様の方法を継続した場合、書籍・雑誌の購入数が減少する恐れがあるため、購入方法の見直しを図り、適正な蔵書数の確保に努めていただきたい。</li> <li>・ 企業が図書館をどのくらい利用しているのか状況を把握し、企業に対して何が貢献できるかを探っていただきたい。</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民サービス向上のために、マイナンバーカードを利用した図書館利用の方策を検討いただきたい。</li> </ul>

## ○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書籍については、購入方法の改善や児童書を含めた複本数の見直し等を行い、必要な資料の購入数を確保できるよう改善を計画しております。また、分館間で資料の入替を行うなど、より多くの利用につながるよう工夫してまいります。</li> <li>・ 図書館のビジネス支援サービスとして、長野県よろず支援拠点との連携による「ビジネス情報相談会・ミニセミナー」を定期的に関き、役立つ資料や情報の提供を通じて個人事業主や中小企業の支援を行っています。引き続きビジネス支援に取り組むとともに、図書館から外に出て様々な団体や企業と連携することにより、地域のニーズ把握に努めてまいります。</li> <li>・ マイナンバーカードにつきましては、図書館利用カードや電子図書館サービスでの活用等、他自治体の事例を参考にしながら、利用者サービス向上につながる方策を検討してまいります。</li> </ul>
-----------	---

令和7年度 事務事業評価シート(ハード事業)

○実施計画

事務事業名	重伝建整備事業				担当課	文化財課				施策	3-5	
目的	対象	重伝建地区内で建造物等の工事を行う者								新規/継続	継続	
	意図	重伝建地区内の適正な整備を行い、歴史的な町並みの保存を図り、将来にわたって継承していく。								会計区分	一般	
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景				○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景				○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景			
事業費・財源	決算額	(千円)	25,450	予算額	(千円)	18,744	計画額	(千円)	25,224			
	補助金		25,319	補助金		18,576	補助金		25,000			
	その他		131	その他		168	その他		224			
	特定	17,226	一般	8,224	特定	12,699	一般	6,045	特定	17,093	一般	8,131

○事中評価

評価視点	有効性	2	やや低い	総合評価	C
	効率性	4	高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	✓
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	✓

今後の方向性									
成果	拡充		④		②		①		✓
	現状維持		③		⑤				
	縮小		⑥						
	休廃止	⑦							
		皆減	縮小	現状維持	拡大				
コスト									

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の修理修景事業について、木曾平沢で4件の修理事業を予定する。</li> <li>令和8年度の修理修景事業者を取りまとめ、国庫補助申請に必要な資料作成を依頼している。</li> <li>両地区で建物の改修等に関する町並み相談会を開催し、令和9年度以降に修理修景事業を希望する事業者を募った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の新築・改築・増築・改修に係る許可基準に明示されていない事項や伝建制度の規制対象外の内容について、これまで住民による取り決めや共通認識の中で守ってきた側面があるが、移住や出店等による地区外からの流入者が増加する中、周知方法の検討や理解を浸透させるための取り組みが求められてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修理修景事業に対する補助上限額が30年以上変更されていない状況で、物価上昇や人件費・資材高騰といった現状に即しているとは言えないため、R9年度より上限額を引き上げ、積極的な保存活用を推進を図りたい。</li> <li>現在、奈良井地区において、伝建地区内での建造物等の工事にあたり、伝建制度の許可基準で示されていない詳細や、伝建制度では規制できない部分の地区の取り決めごとを記載したガイドラインを地元と共同で作成しており、来年度その印刷製本費を要求する(町並み保存推進事業(行政評価対象外)に関する事項)。</li> <li>R8年度に木曾平沢選定20年、R10年度に奈良井選定50年の節目を迎えるため、記念事業の開催を予定している。特に、奈良井選定50年に向けては、伝建選定時から現在までの町並みの変遷や現状把握のための見直し調査の実施を、R9～10年度にかけて外部調査機関に委託する予定である(町並み保存推進事業(行政評価対象外)に関する事項)。</li> </ul>

第1次査定		第2次査定	
-------	--	-------	--

○ 実施計画補正要求

(千円)

年度	概要		項目(起債対象に※)		計画額	補正要求額	補正後額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
令和8年度	○奈良井・木曾平沢伝統的建造物群保存地区修理修景		補助金		25,000		25,000		25,000		25,000
			旅費・消耗品費		224		224		224		224
							0		0		0
							0		0		0
							0		0		0
			事業費合計				25,224	+0	25,224	0	25,224
	財源内訳	国庫支出金	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	65%	16,339		16,339		16,339		16,339
		県支出金	文化財保護事業補助金	3%	754		754		754		754
		地方債1	(地方債名)				0		0		0
		地方債2	(地方債名)				0		0		0
		地方債3	(地方債名)				0		0		0
		その他					0		0		0
一般財源				8,131	+0	8,131	0	8,131	0	8,131	

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<p>・奈良井修理2件・修景1件、木曾平沢修理2件の事業を実施した。</p> <p>・令和7年度分は、木曾平沢4件の事業実施箇所について、令和6年9月の伝建審議会の審議を経て、補助金の予算化を図るとともに、令和7年1月に文化庁へ国庫補助金の交付申請した。</p> <p>・令和8年度以降分について、地元住民組織との共催で相談会を開催し、事業実施希望者の取りまとめを行った。</p>	<p>・事業の実施により、地区内の建造物が適切に保存され、町並み全体の歴史的風致が保たれている。これにより住民の文化財保護意識の向上や地域への愛着・誇りの醸成が図られるほか、観光資源としても活用され、地域の振興に寄与している。</p> <p>・相談会の開催により、数年先までの事業予定を把握することができ、計画的な事業実施ができています。</p>	<p>・両地区の修理修景事業実施希望者は増えてきているが、従来の予算規模では対応できず、やむを得ず先の年度以降に事業実施を見送ってもらう事例が出てきている。</p> <p>・資材・人件費等の高騰により、修理修景事業に係る工事費は上昇している一方、補助上限額が少ないため、事業者負担が大きくなる傾向にある。このため、事業実施を躊躇したり、実施したとしても十分な修理修景が行えないケースも出てきている。</p>

○評価指標

評価指標(単位)	修理修景事業実施数			
	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)	3	0		
実績値(事後評価)	5			
目標値	5	4	4	
(事後評価)指標実績値の要因分析	・計画した事業全件について、年度内に事業完了した。			

作成担当者	交流文化部	文化財課	文化財係	職名	主任	氏名	今福 大輔	連絡先(内線)	3134
最終評価者	文化財課長	氏名	古畑 比出夫	担当係長		文化財係長	氏名	塩原 真樹	

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>物価や資材・人件費の高騰が続く中、文化財建造物や町並みの保存には、維持するだけでも厳しい予算状況があり、その打開策の実現性にも課題があります。古きものを守り続けることは大変すばらしい一方で、地域社会の変化や所有者の高齢化により維持管理は困難となり、保存に伴う課題は増すばかりです。そのため、地域の理解を得ながら計画的に事業を進めることが重要です。</p> <p>文化財としての建造物の保存や町並みの保持を継続するには、地域住民の理解を深め、次世代につなげる視点が欠かせません。保存と活用のバランスを整えつつ、今後も適切な修理・保存を進められることを期待します。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30年以上変更されていなかった修理修景事業に対する補助上限額の引き上げに向けて、具体的な取り組みを進めている点を評価します。</li> <li>・ 今後、木曾平沢選定20年、奈良井選定50年を迎えるということで、本事業による取り組みが両地区の魅力的な景観をつくりあげてきたのだと感じます。</li> <li>・ 町並み相談会が機能して、住民の地域への愛着・誇りの醸成が図られ、事業推進に寄与できていること及び地元住民と共同でローカルルールのガイドラインが作成できることは評価します。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修理修景事業のさらなる充実を通じて、歴史的町並みの保存および整備が今後も継続的に推進されることを期待します。</li> <li>・ 本事業による対応ケースを事例集のような形で可視化し、課題を抽出し、より具体的な対応方法を検討できるようにしてはいかがでしょうか。</li> <li>・ 地元の熱意が感じられるときに、鍵となる補助の上限の引き上げは必要ですが、同時に国・県に対しても補助金の増額を要請すべきです。</li> </ul>
その他意見	

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奈良井地区が重伝建選定50年の節目を迎えるにあたり、選定後の社会状況等の変化の把握や、修理・修景事業、防災事業、街並み環境整備事業といった重伝建地区内における保存活用に係る事業の成果等を振り返るための「見直し調査」を、令和9～10年度で実施する予定です。この調査により、選定後50年の経過を整理し、現況や課題を的確に把握することで、今後の町並み保存制度運用のプラットフォームとなることを目的としております。奈良井地区は、重伝建地区としてのポテンシャルの高さから、多くの観光客だけでなく、他の伝建地区の行政担当者・議会・住民組織・建築士・大学の研究室・国の機関等が毎年視察に訪れています。「見直し調査」の実施により、価値を更に高め、伝建地区のトップランナーを目指します。</li> <li>・ 所有者への補助限度額の引上げと併せ、国（文化庁）の補助額の増額を要望してまいります。</li> </ul>
-----------	--

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	平出遺跡公園事業(ソフト事業)			担当課	平出博物館			施策	3-5		
目的	対象	市民、市外からの来訪者						新規/継続	継続		
	意図	5,000年人が住み続けている歴史を伝えるとともに、非日常的な憩いの場とする。						会計区分	一般		
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度				
	○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催			○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催			○遺跡ガイダンス・体験型学習の開催 ○平出遺跡公園の維持管理 ○ひらいで遺跡まつりの開催				
事業費・財源	決算額	(千円)	9,711	予算額	(千円)	11,643	計画額	(千円)	4,467		
	遺跡まつり実行委員会負担金		938	遺跡まつり実行委員会負担金		950	遺跡まつり実行委員会負担金		950		
	光熱水費		1,238	光熱水費		1,305	光熱水費		1,305		
	その他		1,897	その他		2,980	その他		2,212		
	人件費(会計年度任用職員)		5,638	人件費(会計年度任用職員)		6,408	人件費(会計年度任用職員)				
特定	318	一般	9,393	特定	300	一般	11,343	特定	300	一般	4,167

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	B
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

① 他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
② 単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③ 事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	
④ コスト全体に占める市の負担割合を下げると成果を達成できない	✓
⑤ 部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	

今後の方向性						
成果	拡充		④		②	①
	現状維持		③		⑤	✓
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大		

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
・観光業が活性化し、都市圏発着のバスツアーの目的地に組み込まれるようになってきている。遺跡公園滞在時の満足度を向上させるため、周辺環境整備の徹底とホスピタリティを持った対応に努めている。	・もとよりイベント時には、ボランティア団体を抜きにして当該事業は成り立たないが、一昨年度の正規職員の減員がその状況に拍車をかけている。ボランティア団体の構成員自体も高齢化しており、適当な世代交代が求められる。	・遺跡公園の認知度が向上し、イベント等での活用が進んできている。今後は、それらのイベント関係者に、より遺跡公園に主体的な関与を促すようなコミュニケーションを図りたい。

第1次評価	第2次評価
-------	-------

事務事業名	平出遺跡公園事業(ソフト事業)	課名	平出博物館
-------	-----------------	----	-------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後	
遺跡まつり実行委員会負担金	950		950		950	
光熱水費	1,305		1,305		1,305	
その他	2,212		2,212		2,212	
			0		0	
			0		0	
			0		0	
			0		0	
			0		0	
人件費(会計年度任用職員)			0		0	
<b>事業費合計</b>	<b>4,467</b>	<b>+0</b>	<b>4,467</b>	<b>+0</b>	<b>4,467</b>	
財源内訳	国庫支出金 (名称)		0		0	
	県支出金 (名称)		0		0	
	地方債 (名称)		0		0	
	その他 体験学習参加費	300		300		300
	一般財源	4,167	+0	4,167	+0	4,167

○ 評価指標

評価指標(単位)	来園者数(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		30,605	27,553	
実績値(事後評価)	43,636	48,674		
目標値		38,000	39,000	40,000
(事後評価) 指標実績値の要因分析	・これから先の平出遺跡公園周辺のあり方を考えるうえで、より広くより多くの人に平出遺跡そのものをまず知って、来て、体験してもらうことを優先課題として事業展開していることが成果として現れた。			
評価指標(単位)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)				
実績値(事後評価)				
目標値				
(事後評価) 指標実績値の要因分析				

○ 事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平出遺跡公園の維持管理を行った。</li> <li>・体験型学習の機会提供として、「火起こし」「勾玉づくり」など古代体験プログラムを実施した。</li> <li>・第21回「ひらいで遺跡まつり」を開催し、遺跡公園の認知度向上に努めた。</li> <li>・来場者が減少する冬季にもイベントを開催するべく、「SHIOJIRI NIGHT MUSEUM in 平出遺跡」を開催した。</li> <li>・庁内の他部課や民間事業者による公園利用に積極的に対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡公園内の適切な除草作業により、快適な公園環境を維持することができた。</li> <li>・「ひらいで遺跡まつり」は、悪天候により来場者が例年よりも少なかったが、約2,300人も来場者があった。</li> <li>・「SHIOJIRI NIGHT MUSEUM in 平出遺跡」では、市内全保育園・幼稚園の年長児の絵を飾った灯籠をメインにしたライトアップを行い、約1,800人の来場者が幻想的な遺跡公園を満喫した。</li> <li>・遺跡公園を活用したイベントとして「塩尻ファイナリーフェスティバル」、「信州キッチンカーフェス」、「LOCAL NIGHT MUSEUM in 平出遺跡」を開催し、多くの方が訪れて公園の利活用が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平出遺跡公園を活用した数多くのイベントが開催され、多くの来場者が訪れることは望ましいことであるが、遺跡公園周辺に専用の駐車場がほとんどないため、イベント開催時には周辺で交通渋滞が発生するなど、円滑な交通の確保に向けた対策が必要となる。</li> <li>・遺跡公園ガイダンス棟で実施している古代体験プログラムの材料代が価格高騰のため、体験料の見直し又は体験の中止を検討する必要がある。</li> </ul>

作成担当者	交流文化部	平出博物館	職名	主査	氏名	石井 健郎	連絡先(内線)	5591
最終評価者	平出博物館館長	氏名	小松 学	担当係長	氏名			

## ○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>平出遺跡公園は利用しやすい場所にあり、駐車場も以前に比べて平らになったことで、自家用車でも安心して利用できます。年間を通して多数のイベントが開催され、年々魅力的な内容が増え、新たなイベントも定着してきています。日中は親子で身近に足を運べる開放感あるパークイベント、夜間は遺跡を囲む幻想的な空間アレンジが癒しを生み、平出遺跡のファンも増えています。インスタグラムでの積極的な情報発信により認知度が上がり、古代体験も欠かせないものとなっています。</p> <p>今後はイベント開催時の駐車場確保やシャトルバス運行、アルコール提供時の交通手段の確保など、安全で一層魅力的な利活用への工夫を期待します。</p>
-------------	--

## ○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くのイベントが開催され、それぞれに様々な工夫が凝らされるなど、継続的な努力が認知度の向上につながっている点を評価します。</li> <li>各種イベントが市内外に浸透してきており、憩いの場という本事業の目的に向けたベースが整えられてきたように思います。</li> <li>いろいろな取り組みにより、遺跡公園の認知度が向上したことを評価します。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知度が向上に伴い、来訪者数が年々増加していることを踏まえ、今後は受け入れ態勢のさらなる強化が求められると考えます。持続可能な組織運営の実現に向けた取り組みを期待します。</li> <li>遺跡まつりにおけるボランティアの確保に向けて、声かけにとどまらず、参加への動機を高めるような仕掛けの構築、展開を期待します。</li> <li>遺跡公園の認知を広めたことから、今後は民間が仕掛けを、行政が後押しすることが理想ですので、後方支援できる環境整備に引き続き努めることが必要だと思います。</li> </ul> <p>駐車場の問題は、シャトルバスの利用方法も一考だと思います。</p>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園と博物館との一体感が体験できる回遊ルートが設定できるように、今から検討研究しておくことが必要だと考えます。</li> </ul>

## ○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平出遺跡公園は縄文・古墳・平安時代という3つの異なる時代の復元された住居が立ち並び、当時の集落景観を窺い知ることができる他に類をみない史跡公園で、ガイドンス棟で遺跡について映像などで学んだり、「勾玉づくり」「弓矢飛ばし」といった古代体験などを行うことができます。しかし、より詳しく知りたい方に対して多くの遺跡公園でみられるような遺跡ガイドはおらず、必要性を痛感しています。そのため、ボランティアガイドの育成や運営について実績のある自治体を参考に情報収集しながら研究してまいります。</li> <li>ボランティアの確保に向けては、インセンティブの一つとして博物館施設等の無料パスポートの発行を行ってまいります。</li> <li>遺跡公園の利活用の促進に対しては、引き続き民間活力を積極的に活用していきたいと考えていますが、有効的な官民連携の手法についても引き続き検討してまいります。</li> </ul>
-----------	--

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	市民交流センター交流企画事業			担当課	市民交流センター			施策	6-1		
目的	対象	市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者						新規/継続	継続		
	意図	新しい人々や多くの人々が絶えず行きかう場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。						会計区分	一般		
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度				
	○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施			○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施			○貸館受付と証明発行業務 ○センターの協同による運営 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施 ○予約システムの更新				
事業費・財源	決算額	(千円) 18,957		予算額	(千円) 23,623		計画額	(千円) 3,730			
	IT講座運営事業委託料	1,095		IT講座運営事業委託料	0		IT講座運営事業委託料	0			
	市民営提案事業(交流企画)	1,428		市民営提案事業(交流企画)	1,439		市民営提案事業(交流企画)	1,505			
	その他	974		中心市街地活性化事業	300		中心市街地活性化事業	300			
				その他	2,077		その他	1,925			
	人件費(会計年度任用職員)	15,460		人件費(会計年度任用職員)	19,807		人件費(会計年度任用職員)				
特定	479	一般	18,478	特定	182	一般	23,441	特定	192	一般	3,538

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	A
	有効性	4	高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど点数は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	✓
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	✓

今後の方向性						
成果	拡充		④		②	①
	現状維持		③		⑤	✓
	縮小		⑥			
	休廃止	⑦				
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大		

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向け講座を継続するとともに、地域貢献活動を行う企業との連携により、「シニア向け「ボイストレーニング講座」等を新たに企画した。</li> <li>市公式LINE、ホームページ、SNSを活用し、イベント開催告知や開催中・終了後の情報発信も強化。動画や写真・参加者の声を取り入れ、工夫を凝らした広報を実施した。</li> <li>壁柱利用促進として、絵画アーティストに加え、新たに写真家による写真展を開催。美術館のような魅力的な空間作りを実施した。</li> <li>施設利用者の利便性向上のため、来年度の公共施設予約システム更新に向け、課題整理や利用者ニーズの把握、既存システムの改善点の検討を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な企画を続けて実施することで、開催準備から次回準備までのサイクルが短く、開催後の振り返りが十分でない場合がある。短期間でも、効果的にフィードバック活用できる仕組みを検討していきたい。</li> <li>イベント開催ごとに必要となる人員体制の確保も課題である。職員間で協力し合いながら対応しているが、窓口業務やシフトの都合で人員が不足する場合もある。今後は、市民交流センターのみならず、図書館やえんぱーく入居部署とも連携し、共同で企画・運営できるような体制を検討する必要がある。</li> <li>子育て世代に加え、青少年やシニア世代も参加しやすい講座、交流事業の充実が引き続き求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>えんぱーくは青少年(中学生)やシニア世代の利用が多いが、これらの世代を対象としたイベントが十分とは言えない。利用実態に即した事業展開を図り、さらに青少年やシニア世代にとっても魅力ある企画を充実させていく必要がある。</li> <li>青少年向けには、学習エリアや市民サロンを日常的に利用している中学生を対象に、大学生や講師を招いた交流イベントを検討している。学習法や大学生活についてリアルな声を届けることで交流を深め、学習意欲や進路意識の向上につながる場としたい。</li> <li>シニア世代向けには、食育室を活用したお菓子作り教室などを検討している。実習形式の講座により楽しみながら学ぶ機会を提供し、交流や健康づくりにも寄与することを目指す。</li> <li>今後も世代ごとの関心に応じたプログラムを組み合わせ、地域全体のつながりを深める取り組みを進めていきたい。</li> </ul>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	市民交流センター交流企画事業	課名	市民交流センター
-------	----------------	----	----------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
IT講座運営事業委託料	0		0		0
市民営提案事業(交流企画)	1,505		1,505		1,505
中心市街地活性化事業	300		300		300
子育て支援・青少年交流事業	0		0		0
その他	1,925		1,925		1,925
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
<b>事業費合計</b>	<b>3,730</b>	<b>+0</b>	<b>3,730</b>	<b>+0</b>	<b>3,730</b>
財源内訳	国庫支出金 (名称)		0		0
	県支出金 (名称)		0		0
	地方債 (名称)		0		0
	その他 講座受講料等		0		0
	一般財源	3,730	+0	3,730	+0

○評価指標

評価指標(単位)	貸館利用者人数(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		17,799	179,351	
実績値(事後評価)		39,547		
目標値		58,000	60,000	60,000
(事後評価) 指標実績値の要因分析	市民交流センターは改修工事のため、約半年間にわたり会議室などの貸出ができず、利用者数は目標を大きく下回った。しかし、再オープン後は利用者が徐々に戻ってきており、今後も引き続き利便性の向上に努め、さらなる集客を図っていく。			
評価指標(単位)	講座等参加者満足度(%)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		98.4	98.1	
実績値(事後評価)	98.7	90.4		
目標値		90.0	92.0	92.0
(事後評価) 指標実績値の要因分析	2月開催のリニューアルイベントで、満足度回答415件中「普通」10%、「あまり良くない」5%があったためと考えられる。当日は多くの来場があり、一部ワークショップで定員を超えたため、参加できないケースが発生。混雑状況が影響した可能性がある。一方で、集客力の向上やイベントへの関心の高さが示されたとも言え、今後の運営改善や会場規模の見直しにつなげる好機と捉えられる。			

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTルームを活用し、「ばそこん基礎講座」を17講座実施。</li> <li>子育て世代の支援や青少年の交流促進など、幅広い層向けの講座・イベントを展開。五つの重点分野を融合した取組として10事業15回開催した。</li> <li>中止となった「ちびてつ」は、外部講師の協力により、新たに「wacco」として開催することができた。</li> <li>市民提案による交流企画事業として「こどもしおじり」を開催し、専門家や実行委員会と連携した運営体制のもとで実施した。</li> <li>大規模改修工事を経た再開を記念し、リニューアルオープンイベントを企画・実施した。</li> <li>貸館業務や証明書交付などの窓口対応においては、迅速かつ丁寧な対応を徹底し、利用者からの信頼を維持した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ばそこん基礎講座」は、デジタルスキルの習得支援として成果を上げた。</li> <li>講座・イベントに年間延べ5,922人が参加し、学びと交流を通じて新たな知恵の創出を促進。多世代の参加や地域内の連携にもつながった。</li> <li>哲学対話イベントにより、子どもたちが思考を深め、さまざまな考えに触れ、哲学対話を楽しむ場を再び提供することができた。</li> <li>「こどもしおじり」に、147人が参加。約90人の専門家や実行委員会の協力のもと、子どもたちが主体的に社会や経済の仕組みを学ぶ貴重な機会となった。</li> <li>リニューアルオープンイベントでは、2日間で50団体が出展し、4,552人が来場。えんばーくの新たな魅力を広く発信する盛況な催しとなった。</li> <li>壁柱利用促進事業として、絵画展や観光情報の映像投影を実施。美術や地域への関心を高めるとともに、壁柱の活用促進と認知向上に寄与した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代への応援事業や子ども向け講座の継続に加え、青少年世代やシニア世代も参加しやすい講座や交流イベントの充実が課題である。世代を超えた交流の場を創出し、地域全体のつながりを深める取り組みが必要である。</li> <li>イベント開催において、市ホームページやSNSを活用したタイムリーで魅力的な発信による広報強化が必要である。市民の関心を高め、参加促進につなげる工夫が必要である。</li> <li>利用者のさらなる利便性向上を目指し、貸館の支払い方法のオンライン化や、市民サロン・壁柱予約の電子化が課題である。令和8年度のシステム更新に向けて、現状の課題整理と具体的導入検討を進める必要がある。</li> </ul>

作成担当者	交流文化部	市民交流センター	市民活動支援係	職名	主任	氏名	塩原 理奈	連絡先(内線)	4221
最終評価者	市民交流センター長	氏名	矢澤 昭義	担当係長	市民活動支援係長	氏名	上條 さやか		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>取組内容や情報発信が充実し、実際に行ってみたいと感じる企画が増えてきたと感じます。イベントや講座の企画数も多く、青少年から成人・壮年・老年期まで、幅広い年齢層に支持されている点がとても評価できます。青少年のニーズに合わせたイベント企画は、利用実態に即した事業展開として共感でき、緩急のあるプログラムによって心身のバランスが保てるような内容に期待しています。アロマなどを取り入れ、館内にいるだけでホッとできる空間づくりも魅力的です。</p> <p>また、各世代が非日常的な体験や新たな自分探しを通じて人生を楽しめる企画が今後さらに充実し、多くの世代が参加できる魅力ある場所として継続的に発展していくことを望みます。</p>
-------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信の強化により、新たな来訪者や多くの人々が継続的に行き交う場の創出という目的が着実に達成されており、その取り組みを高く評価します。</li> <li>・ PDCAサイクルにもとづき、適切かつ積極的な事業展開がなされていると思われまます。</li> <li>・ 市民ニーズを把握しながらの知恵の交流づくりと既存施設の利活用の促進を評価します。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年やシニア世代の参加促進に向けては、他自治体の優れた事例を参考にしながら、交流事業のさらなる充実を図られてはいかがでしょうか。</li> <li>・ 人々の交流という目的から、イベント開催が目的にすり替わってしまわないよう、交流という視点からの評価も求められるように思います。</li> <li>・ 多様な企画は、効果的な企画になるよう十分な検証をすることが必要です。検証することで課題の気づきにつながり、事業検証となります。</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントも大切ですが、人員も限られていることから、イベント倒れにならないよう利用者組織の協力を得るなどして、効果的なイベントを期待します。</li> </ul>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年やシニア世代の参加促進において、他自治体の優れた事例を参考にするとともに、青少年向けには市民交流センターを利用する中高生にアンケート調査を実施し、ニーズに応じたイベントを企画・実施します。また、シニア世代向けには、他部署や協力団体と連携を深め、より充実した交流事業を実施していきます。</li> <li>・ イベント企画においては、「知恵の交流を通じた人づくりの場」という基本コンセプトを常に意識しています。今後も開催することが目的とならないよう交流の視点を重視していきます。また、事業の効果を評価・検証し、得られた課題を改善することで、より実効性の高いプログラムを提供し、参加者満足度の向上と地域のつながり強化を目指します。</li> <li>・ 限られた人員で効果的で持続可能なイベントを実施していくために、市民交流センターを利用する団体やボランティアの協力を得ながら進めてまいります。</li> </ul>
-----------	--

# 令和7年度 ことども教育部 第1期中期戦略体系別 対象事業一覧

目指す都市像	基本戦略	戦略分野・施策	中期戦略に紐付く事務事業（○自己点検評価対象事業）			
			（重点化する事務事業）	担当課	評価	
多彩な暮らし、叶えるまち。 — 田園都市しおじりー	A 未来共育	戦略分野1 パートナーシップ・子育て 施策1-3 子育て家庭が地域で支えられ、育児などの支援をいつでも受けられる	子育て支援センター事業 こども広場事業 ファミリーサポートセンター事業	保育課 保育課 保育課	○	
		施策1-4 ライフスタイルに合う預け先があることで、 家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる	保育園大規模修繕事業 民間保育所支援事業 保育所運営費 育児支援推進事業 保育補助員設置事業 給食運営費 にぎやか家庭応援事業 私立幼稚園支援補助金	教育施設課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課 保育課	○	
		施策1-5 子ども・家庭へのきめ細やかな相談・支援がある	児童扶養手当支給事業 ひとり親家庭福祉推進事業 児童福祉施設費 家庭支援推進事業 こどもの未来応援事業 元気づき子応援事業 若者サポート事業	こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課 こども未来課	○	
		戦略分野2 学校教育・学びの環境 施策2-1 「考える」「対話する」「触れる」「活用する」 体験を通して深い学びができる	教育再生推進事業 教育DX推進事業 小学校英語教育推進事業 特色ある教育活動事業(小中学校) 教育振興諸経費(小中学校) ICT活用教育推進事業(小中学校)	学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	○	
		施策2-2 企業との連携による「働く」と「学び」の接続や、 保護者、学校外での連携による地域全体の協力がある	地域連携教育推進事業 探求型キャリア教育推進事業	学校教育課 学校教育課		
		施策2-3 心身の成長を支える安全安心な学校環境がある	貯水設備改善事業(小学校) 消防施設等改善事業(小中学校) 空調設備設置事業(小中学校) 照明設備LED化推進事業(小中学校) 学校長寿命化改良事業 給食運営事業諸経費(小中学校) 学校給食レシビ公開事業	教育施設課 教育施設課 教育施設課 教育施設課 教育施設課 学校教育課 学校教育課		
		施策2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	児童館大規模修繕事業 児童館・児童クラブ運営費 放課後キッズクラブ運営費 部活動地域移行推進事業	教育施設課 学校教育課 学校教育課 学校教育課		
		施策2-5 きめ細やかな支援による平等な学習機会が提供される	まなびサポート事業 教育相談支援事業 高等学校等振興事業 奨学資金貸与事業 教育振興扶助費(小中学校)	学校教育課・こども未来課 学校教育課 学校教育課 学校教育課 学校教育課	○	
		B				
		C	戦略分野8 医療・介護・保健・福祉 施策8-3 介護・福祉・医療を担う人材や組織が安定し、サービスの選択肢がある	奨学資金貸与事業(医学生奨学)	学校教育課	

## 部重点方針

### 方針1 安心して子育てができる環境の整備

- 保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- 子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- 学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

### 方針2 子ども・若者・家庭へのきめ細やかな相談支援の充実

- こども計画に基づき、子どもの権利の尊重と子ども、若者及び子育て家庭への支援の推進
- 様々な困難を抱える子ども、子育て家庭の相談支援の充実と居場所など地域資源の開拓
- 元気づき子応援事業を核に子どもの成長・発達と幼保小中高へのつなぎを応援する相談支援の提供

### 方針3 「ワクワク」するような主体的・探求的な学びと地域連携の推進

- GIGA端末を活用した効果的な授業改善と学校の働き方改革の推進
- ひと・もの・ことを活用し、地域の中で探究的に学ぶキャリア教育の推進
- 地域、民間等との連携・協働による子どもたちの願いを叶える部活動地域移行の推進

### 方針4 一人ひとりに応じた多様な学びの場ときめ細やかな支援の提供

- 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策の推進、相談体制の充実
- 奨学資金貸与や就学援助費の支給等による平等な学習機会の提供
- 一人ひとりが大切にされ、いきいきと学べるインクルーシブな教育の推進

## 主要一般事業

保育所施設改善事業	教育施設課
児童館・児童クラブ施設改善事業	教育施設課
教育施設集中管理事業	教育施設課
施設改善事業(小中学校)	教育施設課
スクールバス運行費	学校教育課
給食公会計事務諸経費	学校教育課
放課後児童教室運営諸経費	学校教育課

方針1：安心して子育てができる環境の整備

- ・保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- ・子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- ・学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

No.	施策	1-3 子育て家庭が地域で支えられ、育児などの支援をいつでも受けられる	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で出かけられる場所があり、親同士の交流や子ども同士が遊び、親の心配事の相談などが自然に行われています。</li> <li>・父親の育児・家事参画や祖父母の育児協力が進み、子育て中の同じ境遇の仲間とつながることで、特定の家族に子育ての負担が集中したり、孤立することが減っています。</li> <li>・行政が行う保育サービスに加えて、住民有志・ボランティアによる子どもの見守りや預かり、交流の機会があり、地域で子育てへの支えが広がっています。</li> </ul>
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
1	子育て支援センター事業	保育課 子育て支援センター	子育て支援センター、北部子育て支援センターの運営を行い、3歳児までの子育てをする家庭に対して、安心して遊べる場所の提供、育児に関する講座の開催及び育児相談を実施し、子育てを支援します。	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターの未利用者に対し、毎月保護者の交流を図り、利用が継続できるよう働きかけを行います。</li> <li>・子育て支援センターに対する利用者のニーズを把握するために6月までにアンケートを実施し、ニーズに沿った講座や支援内容を見直します。</li> <li>・重度障がい児や医療的ケア児を持つ家庭に対し、利用しやすいよう年3回の利用日を設けます。</li> <li>・保護者の育児サポートを充実するため、子育て支援センターで行うファミリーサポートでの預かりの周知を積極的に行い、利用者を増やしていきます。</li> </ul>	
			当年度重点化する事務事業	担当課・係
	こども広場事業	保育課 子育て支援センター	こども広場の運営を行い、就学前までの子育てをする家庭に対して、安心して遊べる場所の提供、保護者同士、異年齢・世代間交流促進のための講座の開催・育児相談を実施し、子育てを支援します。	
			当年度取り組む課題と達成すべき目標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初回の登録方法について、継続利用者の登録方法を見直し、保護者の負担軽減を図ります。</li> <li>・講座の内容について、相談や交流の機会を充実するなど、利用者のニーズに合わせた内容に工夫していきます。</li> </ul>	
			上記に記載したもの以外の事務事業	
	ファミリーサポートセンター事業			

方針1：安心して子育てができる環境の整備

- ・保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- ・子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- ・学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

No.	施策	1-4 ライフスタイルに合う預け先があることで、家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立や民間、認可外の保育施設、幼稚園などが連携して、親の就労状況やニーズに応じた保育サービスが提供されていることで、乳幼児や未就学児のいる家庭が仕事と子育てを両立できています。</li> <li>・保育園等を利用しやすい環境が整備されていることにより、安心して出産・子育てができる見通しを持つことができます。</li> <li>・一時的保育、病児・病後児保育など必要な時に安心して預け先があることで、それぞれのライフスタイルに合った生活を送りながら、家庭で子どもと過ごす時間が充実できています。</li> </ul>								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>当年度重点化する事務事業</th> <th>担当課・係</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間保育所支援事業</td> <td>保育課保育企画係</td> <td> <p>私立保育所等に対する運営費補助、延長保育や障がい児受入れに対する事業補助を行うことで、運営の安定化や保育の質の向上を図ります。令和7年度は、0歳児から2歳児までの保育料無償化を拡充するほか、民間事業者が実施する「病児保育事業」などの運営費等に対する補助を新設します。</p> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が実施する「病児保育事業」などを支援し、年度内における事業開始の達成と運営費等に対する補助を実施するとともに、今後の病後児保育事業の方向性について検討します。</li> <li>・大門五番町の教員住宅の跡地利用について、民間未満児保育施設の誘致について再検討します。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <th>当年度重点化する事務事業</th> <th>担当課・係</th> <th>概要</th> </tr> <tr> <td>保育所運営費</td> <td>保育課保育園運営係 保育課保育企画係</td> <td> <p>市内公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れるとともに、地域子育ての拠点として保育事業等を実施します。令和7年度は、こども誰でも通園制度の試行的事業に取り組みます。</p> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士採用に向け、県内養成校やハローワーク、県社協との関係をこれまで以上に強固にし、採用情報の周知徹底に努めるとともに、新規事業として「大人の保育実習事業」を立ち上げ、保育士不足を解決します。</li> <li>・子育て支援の拡充施策として、「おむつのリサイクル」を見越した「おむつのサブスク」の導入を検討します。</li> <li>・保育士の複線型人事等の基準を策定し、正規職員のモチベーションと処遇を改善するとともに、会計年度任用職員の働き方の見直しによる新たな業務執行体制を検討します。</li> <li>・こども誰でも通園制度について、他の保育施策と重複しないよう制度設計と試行的な導入を年度内に行い、スムーズに令和8年度からの本格実施につなげます。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	民間保育所支援事業	保育課保育企画係	<p>私立保育所等に対する運営費補助、延長保育や障がい児受入れに対する事業補助を行うことで、運営の安定化や保育の質の向上を図ります。令和7年度は、0歳児から2歳児までの保育料無償化を拡充するほか、民間事業者が実施する「病児保育事業」などの運営費等に対する補助を新設します。</p> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が実施する「病児保育事業」などを支援し、年度内における事業開始の達成と運営費等に対する補助を実施するとともに、今後の病後児保育事業の方向性について検討します。</li> <li>・大門五番町の教員住宅の跡地利用について、民間未満児保育施設の誘致について再検討します。</li> </ul>	当年度重点化する事務事業	担当課・係
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要										
民間保育所支援事業	保育課保育企画係	<p>私立保育所等に対する運営費補助、延長保育や障がい児受入れに対する事業補助を行うことで、運営の安定化や保育の質の向上を図ります。令和7年度は、0歳児から2歳児までの保育料無償化を拡充するほか、民間事業者が実施する「病児保育事業」などの運営費等に対する補助を新設します。</p> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が実施する「病児保育事業」などを支援し、年度内における事業開始の達成と運営費等に対する補助を実施するとともに、今後の病後児保育事業の方向性について検討します。</li> <li>・大門五番町の教員住宅の跡地利用について、民間未満児保育施設の誘致について再検討します。</li> </ul>										
当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要										
保育所運営費	保育課保育園運営係 保育課保育企画係	<p>市内公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れるとともに、地域子育ての拠点として保育事業等を実施します。令和7年度は、こども誰でも通園制度の試行的事業に取り組みます。</p> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士採用に向け、県内養成校やハローワーク、県社協との関係をこれまで以上に強固にし、採用情報の周知徹底に努めるとともに、新規事業として「大人の保育実習事業」を立ち上げ、保育士不足を解決します。</li> <li>・子育て支援の拡充施策として、「おむつのリサイクル」を見越した「おむつのサブスク」の導入を検討します。</li> <li>・保育士の複線型人事等の基準を策定し、正規職員のモチベーションと処遇を改善するとともに、会計年度任用職員の働き方の見直しによる新たな業務執行体制を検討します。</li> <li>・こども誰でも通園制度について、他の保育施策と重複しないよう制度設計と試行的な導入を年度内に行い、スムーズに令和8年度からの本格実施につなげます。</li> </ul>										

方針1：安心して子育てができる環境の整備

- ・保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- ・子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- ・学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要	
給食運営費	保育課保育園運営係	安全安心で質の良い給食の提供及び食育推進のため、自園給食を堅持し、園児の望ましい食習慣の定着や心身の健全な発達を図ります。	
		<p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心を第一とした質の高い給食の提供に大きく関わる調理業者の選定(プロポーザル)を滞りなく実施し、新たな契約を結ぶことで自園給食を堅持します。</li> <li>・安全安心な給食提供及び保護者の負担軽減の両面における子育て支援のため、年度末保育を含めた給食提供日数の増加を検討します。</li> <li>・広丘南保育園大規模修繕に向けた給食室の設備等を検討し、引き続き安心安全な給食が提供できるようにします。</li> </ul>	
<b>上記に記載したもの以外の事務事業</b>			
育児支援推進事業	保育補助員設置事業	にぎやか家庭応援事業	私立幼稚園支援補助金
保育園大規模修繕事業	保育所施設改善事業		



方針1：安心して子育てができる環境の整備

- ・保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- ・子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- ・学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要		
照明設備LED化推進事業 (小中学校)	教育施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー対策として、屋内運動場の未更新の照明設備をLED照明に更新することにより、授業環境及び社会体育環境の向上を図ります。</li> </ul>		
		当年度取り組む課題と達成すべき目標		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の夏休み期間に屋内工事を実施し、学校運営に支障がある期間を最低限にします。</li> <li>・学校を運営しながらの工事のため、安全を最優先に工事を実施します。</li> <li>・未更新の校舎等の照明設備を、2030年までにLED照明に更新するように、スケジュールを決定します。</li> </ul>		
上記に記載したもの以外の事務事業				
給食公会計事務諸経費	学校給食レシピ公開事業	貯水設備改善事業(小学校)	消防施設等改善事業(小中学校)	
学校長寿命化改良事業	教育施設集中管理事業	施設改善事業(小中学校)		

方針1：安心して子育てができる環境の整備

- ・保育料無償化の拡大と家庭で保育する世帯への支援の充実及び自園・自校給食の推進
- ・子育て支援センター等による子どもの成長に合わせた遊びと交流、育児相談機会の充実
- ・学校施設の空調設備設置及び照明設備LED化の推進

No.	施策	施策の目指す方向性	
	2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。</li> <li>・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。</li> <li>・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんだり、心身や技術を鍛える機会が揃っています。</li> </ul>
	当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
4	児童館大規模修繕事業	教育施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻東児童館のトイレ増設、照明設備LED化及びWi-Fi設置等を実施し、児童等の生活環境の向上を図ります。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>当年度取り組む課題と達成すべき目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ内工事を夏休み期間に、LED化を児童館運営に支障が少ない期間に実施することにより、学校や児童館運営に支障がある期間を最低限にします。</li> <li>・学校や児童館を運営しながらの工事のため、安全を最優先に工事を実施します。</li> </ul>
	上記に記載したもの以外の事務事業		
	児童館・児童クラブ施設改善事業		

方針2：子ども・若者・家庭へのきめ細やかな相談支援の充実

こども計画に基づき、子どもの権利の尊重と子ども、若者及び子育て家庭への支援の推進  
 様々な困難を抱える子ども、子育て家庭の相談支援の充実と居場所など地域資源の開拓  
 元気っ子応援事業を核に子どもの成長・発達を応援する相談支援の提供

No.	施策	1-5 子ども・家庭へのきめ細やかな相談・支援がある	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の養育環境を整えるため、経済的支援、子育ての支援、生活の支援、保護者の就労支援等適切な支援がされています。</li> <li>・成長段階に応じた学習等の支援、多様な経験や居場所の提供により、子どもの「学び」と「経験」を保障され、未来を切り拓く力が育まれています。</li> <li>・相談体制・関係機関の連携体制・情報発信の充実により、切れ目のないきめ細やかな支援がされています。</li> </ul>
1	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要
	こどもの未来応援事業	こども未来課・こども未来応援係		<p>すべての子どもが夢や希望を持って成長できるよう、子どもの貧困対策に重点的に取り組むとともに、地域等とのネットワークの構築により、子どもの居場所づくりを推進します。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しおじりこどもまんなかプランに基づき、こどもの権利に関する啓発やこどもの意見を反映する機会の充実、貧困による格差を解消するための支援などをはじめ、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組を推進します。</li> <li>・子どもの居場所を増やすため、地域等とのネットワークを充実させるとともに、活動を支援します。</li> </ul>
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要
	家庭支援推進事業	こども未来課・こども家庭相談係		<p>様々な事情により、支援が必要な児童・家庭に対して関係機関と連携し、相談・支援を行うとともに、児童虐待への対応及び予防を行います。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭センター同士の連携を更に進め、センター機能の充実を図ります。</li> <li>・相談支援の充実のため、社会資源の活用・開拓の検討を進めます。</li> </ul>

方針2：子ども・若者・家庭へのきめ細やかな相談支援の充実

こども計画に基づき、子どもの権利の尊重と子ども、若者及び子育て家庭への支援の推進  
 様々な困難を抱える子ども、子育て家庭の相談支援の充実と居場所など地域資源の開拓  
 元気っ子応援事業を核に子どもの成長・発達を応援する相談支援の提供

当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要	
元気っ子応援事業	こども未来課・元気っ子・若者サポート係	子ども達が、それぞれの個性や特性を大切にしながら、持っている力を十分発揮できるよう、元気っ子相談、フォローアップ訪問等を行い、切れ目のない相談支援体制を構築します。	
		<p style="text-align: center;">当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の発達に合わせた切れ目のない支援を目指し、継続相談の充実や小学校入学後のフォローアップ訪問の方法の改善を図ります。</li> <li>・こどもの将来の自立を見据えた支援継続のため、福祉とのつながりを意識した支援がされるように福祉サービスの研修を相談員向けに実施します。</li> </ul>	
上記に記載したもの以外の事務事業			
児童扶養手当支給事業	ひとり親家庭福祉推進事業	児童福祉施設費	家庭支援推進事務諸経費
まなびサポート事業	若者サポート事業		

方針3：「ワクワク」するような主体的・探求的な学びと地域連携の推進

- ・GIGA端末を活用した効果的な授業改善と学校の働き方改革の推進
- ・ひと・もの・ことを活用し、地域の中で探究的に学ぶキャリア教育の推進
- ・地域、民間等との連携・協働による子どもたちの願いを叶える部活動地域移行の推進

No.	施策	2-1 「考える」「対話する」「共感する」「触れる」「活用する」体験を通して深い学びができる	施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術が進み、情報があふれる社会の中で、自分の感性をもとに選択を始め、他者との対話を通じて自分なりの考えを整理し、課題に取り組み基礎的な学力の定着に繋がっています。</li> <li>・子どもたちの知的好奇心や興味・関心を喚起させる「ワクワク」するような様々な学習機会が提供されることで、自己の主体性を軸にした、主体的に考え探求する学びが実践されています。</li> <li>・学校の働き方改革が進み、校務が効率化され、教職員が子どもたちと向き合う時間や課題に寄り添う時間が確保されています。</li> </ul>
		当年度重点化する事務事業	担当課・係	概要
1	教育DX推進事業	学校教育課 児童生徒支援係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール環境を管理運営するほか、GIGAスクール運営支援センターと連携した後方支援などにより、教職員がICT活用教育に注力できる環境を整備します。</li> </ul>	当年度取り組む課題と達成すべき目標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークアセスメントの結果を受け、文部科学省が推奨する通信速度を満たすために、ネットワークを強化します。</li> <li>・国の「リーディングDXスクール事業」に塩尻市、小川村及び長野県の共同提案が採択されたことから、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた優れた実践の創出、普及・展開の拠点として、県内のGIGAスクール構想の加速化をリードします。</li> </ul>	概要
1	ICT活用教育推進事業(小中学校)	学校教育課 児童生徒支援係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器や付属品などの購入、ICT支援員の派遣、モバイルWi-Fiルーターの貸出しなどにより、学校におけるICT活用教育環境の充実を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による主体的・対話的で深い学びを推進します。</li> </ul>	当年度取り組む課題と達成すべき目標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県内市町村の共同調達に参加し、本年度耐用年数を迎える児童生徒一人一台端末の更新を進めます。端末の調達、設定、配備などを令和7年度中に完了し、令和8年4月から使用できるよう準備します。</li> <li>・現行端末については、一部を教師用端末として再利用するとともに、個人情報漏洩の心配がない適切な方法で令和8年度中に処分できるよう手配を進めます。</li> </ul>	概要

方針3：「ワクワク」するような主体的・探求的な学びと地域連携の推進

- ・GIGA端末を活用した効果的な授業改善と学校の働き方改革の推進
- ・ひと・もの・ことを活用し、地域の中で探究的に学ぶキャリア教育の推進
- ・地域、民間等との連携・協働による子どもたちの願いを叶える部活動地域移行の推進

当年度重点化する 事務事業	担当課・係	概要
教育再生推進事業	学校教育課 児童生徒支援係	・学校教育の充実及び振興を図るため、教育センターが調査・研究、学校又は職員への指導・助言・支援・研修などを行うほか、教育委員会からの諮問事項に関する業務を行います。
		当年度取り組む課題と達成すべき目標
		・教員が誇りとやりがいをもって子どもたちに向き合える環境を整えるため、まずは学校発の働き方改革案を実証します。また、実証で得られた成果等を踏まえ、年度内に「学校の働き方改革推進基本方針」を策定します。 ・市指導主事3名を学校へ派遣し学級や教員を伴走支援することで、授業改善や学級崩壊の未然防止などを図ります。
上記に記載したもの以外の事務事業		
小学校英語教育推進事業	特色ある教育活動事業(小中学校)	教育振興諸経費(小中学校)

方針3：「ワクワク」するような主体的・探求的な学びと地域連携の推進

- ・GIGA端末を活用した効果的な授業改善と学校の働き方改革の推進
- ・ひと・もの・ことを活用し、地域の中で探究的に学ぶキャリア教育の推進
- ・地域、民間等との連携・協働による子どもたちの願いを叶える部活動地域移行の推進

No.	施策	2-2 企業との連携による「働く」と「学び」の接続や、保護者、学校外での連携による地域全体の協力がある		施策の目指す方向性 ・学校・家庭・企業・地域が連携して、学校内だけではできない学びをつくることで、子どもたちが、多様な大人の知識や知恵・生き方・独自の経験などに触れ、学ぶ意味や自らの将来のことを考える経験を積んでいます。 ・子どもの教育・育成について保護者や住民が関心を持ち、学校運営に参画するコミュニティ・スクールの活動が定着することで、地域ごとに個性のある行事や学習活動が展開されています。
		当年度重点化する事務事業 地域連携教育推進事業	担当課・係 学校教育課 教育企画係	概要 ・学校教育課に配置している地域連携コーディネーターと中学校区に1名ずつ配置している学校支援コーディネーターが連携し、各校のコミュニティ・スクール活動を推進していきます。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・これまでの10年間の振り返りを行うとともに、この先10年間を見据えた持続可能なコミュニティ・スクールの体制について検討します。 ・これまでの実績によりコミスク活動における必要経費等のデータが蓄積されてきたため、最小の予算で最大の効果を得られるよう対象事業の精査や支出内容の再検討を行います。
2	施策	当年度重点化する事務事業		概要 ・社会の中で自立して生きていくために必要な資質・能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等)を育成するため、産官学民が一体となったキャリア教育を推進します。 当年度取り組む課題と達成すべき目標 ・キャリア教育コーディネーターを学校教育課に配置し、学校と産業界や地域住民を繋ぎ、子どもたちが社会との関わりの中で学びを深めることができる探究型のキャリア教育プログラムを研究、蓄積します。 ・学校等の取組事例が他校や事業所等に共有できていない課題を解決するため、月1回を目安にキャリア教育新聞を発行し、産官学民のそれぞれに対しキャリア教育への理解を促進します。
		担当課・係 学校教育課 教育企画係	概要 ・社会の中で自立して生きていくために必要な資質・能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等)を育成するため、産官学民が一体となったキャリア教育を推進します。	

方針3：「ワクワク」するような主体的・探求的な学びと地域連携の推進

- ・GIGA端末を活用した効果的な授業改善と学校の働き方改革の推進
- ・ひと・もの・ことを活用し、地域の中で探究的に学ぶキャリア教育の推進
- ・地域、民間等との連携・協働による子どもたちの願いを叶える部活動地域移行の推進

No.	施策	2-4 学校外でも遊び、学び、生活の場などの「居場所」がある	施策の目指す方向性	・共働きなど世帯のニーズに対応した放課後の児童・生徒の居場所について複数の選択肢が確保され、遊びや学びを支えています。	
				・公民館や図書館なども子どもたちが立ち寄り、時間を過ごす居場所となっているほか、子どもたちにも学校コミュニティとは異なった居場所が確保されています。	
				・放課後や休日に学校外で参加できるクラブ活動や部活動、習いごとが充実し、親子の興味に応じて楽しんだり、心身や技術を鍛える機会が揃っています。	
3	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要	
	部活動地域移行推進事業		学校教育課 児童生徒支援係	<p>・中学校部活動地域移行を推進することにより、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して参加できる社会を実現するとともに、教職員の負担軽減を図ります。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・部活動地域移行の受け皿となる地域クラブへの支援体制を強化するため、プロポーザルで選定する民間事業者に情報発信を含めた支援業務を委託するとともに、「桔梗ソフトテニスクラブ」等の休日の地域移行を伴走支援します。</p> <p>・今後の運営に向けて、国・県の動向を踏まえた「塩尻市地域クラブ認定制度・支援制度」(案)を取りまとめ、令和8年2月頃に予定している部活動地域移行協議会で提案します。</p>	
	当年度重点化する事務事業		担当課・係	概要	
	児童館・児童クラブ運営費		学校教育課 学校運営係	<p>・保護者が就労等により、昼間家庭にいない児童を登録により保育(学童保育)する放課後児童クラブや、児童館の運営を行います。</p> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <p>・核家族化、共働き世帯の増加により、児童クラブの登録児童数が増加傾向にあるため、児童クラブ運営に必要な人材を確保し、多くの子どもたちの安全安心な放課後の居場所の充実を図ります。</p> <p>・館職員や保護者の負担を軽減するため、紙で行っている入退館管理方式のDX化等について研究を進めます。</p>	
	上記に記載したもの以外の事務事業				
	放課後キッズクラブ運営費		放課後児童教室運営諸経費		

方針4：一人ひとりに応じた多様な学びの場ときめ細やかな支援の提供

- ・誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策の推進、相談体制の充実
- ・奨学資金貸与や就学援助費の支給等による平等な学習機会の提供
- ・一人ひとりが大切にされ、いきいきと学べるインクルーシブな教育の推進

No.	施策	2-5 きめ細やかな支援による平等な学習機会が提供される		施策の目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭環境や個性によらず、すべての子どもが持てる能力を生かして、自分らしく過ごし学ぶ機会が提供されています。</li> <li>・家庭や学校において、心や体調の変化に早期に気付くことができ、相談先にもすぐにつながる体制が構築されています。</li> <li>・子ども達が経済的な不安を覚えず、進学や学びを選択できる支援が用意されています。</li> <li>・医療・介護・福祉施設の経営努力と行政による支援により、医療・介護・福祉機関で働く人材が確保されています。</li> </ul>
		8-3 介護・福祉・医療を担う人材や組織が安定し、サービスの選択肢がある			
1	教育相談支援事業	学校教育課 児童生徒支援係	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての子どもたちが「らしく学び、らしく生きる」ことができるよう、一人ひとりの育ちに丁寧に寄り添いながら、将来の社会的自立に向けた相談・支援を行い、不登校・引きこもり・自殺などの未然防止を図ります。</li> </ul> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・匿名チャット相談アプリの本格運用の開始し合わせて子と親の心の相談員を1名増員し、いじめ、不登校、自殺などの未然防止に取り組みます。</li> <li>・市教育支援センターが中心となり、多様な学びの場の確保、増加傾向にある不登校児童生徒と支援者とのつなぎ、学校に行くことができない状態が続いている児童生徒の「最初の一步」の支援などに取り組みます。</li> <li>・外国由来の児童生徒の実態を調査し、日本語支援体制の再構築案を検討します。</li> </ul>		
	まなびサポート事業	学校教育課 児童生徒支援係 こども未来課・元気っ子・若者サポート係	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学習環境を提供するため、特別支援教育を担当する講師、特別支援教育支援員及び看護師を小中学校へ配置するとともに、学校訪問や研修会などにより、特別支援教育を推進します。</li> </ul> <p>当年度取り組む課題と達成すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育と福祉の連携を図るため、地域の特別支援教育関係者(小中学校教員、特別支援学校教員、社会福祉法人、行政など)による連絡会を開催し、特別支援教育の質の向上に努めます。</li> <li>・丘中学校、片丘小学校及び吉田小学校で元大学教授による、集団の「かかわりの力」を育てるプログラムを実践することにより、インクルーシブな学校・学級づくりを推進します。</li> </ul>		
	上記に記載したもの以外の事務事業				
	高等学校等振興事業	奨学資金貸与事業	教育振興扶助費(小中学校)	奨学資金貸与事業(医学生奨学)	

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	こども広場事業			担当課	保育課			施策	1-3			
目的	対象	0歳から6歳の子ども(未就学児)						新規/継続	継続			
	意図	親子が触れ合いながら自由に遊び、交流する場の提供						会計区分	一般			
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度					
	○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出			○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出			○施設の維持管理 ○親子で楽しめるイベントの開催 ○木育玩具等の貸出					
事業費・財源	決算額	(千円) 36,935		予算額	(千円) 45,744		計画額	(千円) 33,062				
	駐車場使用料	1,226		駐車場使用料	1,226		駐車場使用料	1,477				
	施設管理負担金	25,631		施設管理負担金	32,426		施設管理負担金	29,497				
	その他	836		備品購入費	318		備品購入費	872				
				その他	1,042		その他	1,216				
	人件費(会計年度任用職員) 9,242			人件費(会計年度任用職員) 10,732			人件費(会計年度任用職員)					
	特定	6,919	一般	30,016	特定	7,492	一般	38,252	特定	9,020	一般	24,042

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	C
	有効性	3	やや高い		
	効率性	3	やや高い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	✓
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	

今後の方向性						
成果	拡充		④		②	① ✓
	現状維持		③		⑤	
	縮小		⑥			
	廃止	⑦				
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大		

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・4月より、閉館時間を17時から18時に1時間延長して実施した。</p> <p>・7月に頂いた寄附金については、滑り台と電車の購入に充当した。</p> <p>・8月～11月まで、ミラープレートの買い替えを目的としたガバメントクラウドファンディングを開始した。目標金額の寄附金を募るため周知に努めている。</p> <p>・年度更新時の申請書類の記入については、登録状況に変更がある世帯のみとし、利用者の負担軽減を図っていくよう調整をしている。</p>	<p>・多くの利用者に満足していただけるよう、遊具の買い替え、補充、修繕が必要である。費用に充当するため12月より募金を開始する。</p> <p>・虐待対応などの支援が必要な親子に対し、職員が共通して適切な支援を行うためには、入館管理システムの表示画面に、個別の支援方針が表示されることが必要である。</p>	<p>・多くの利用者のニーズに応じ講座の内容やイベントを工夫し実施していく。</p> <p>・遊具の買い替え、補充、修繕を目的とした募金を実施する。</p> <p>・市営駐車場利用者の増加に伴い、駐車場使用料の増額が必要である。(251,000円増額)</p> <p>・電気料増額により施設管理負担金増額。(R7年負担金 29,408千円 R8年 89,000円増額)</p> <p>・ユニバーサル就労の取り組みとして、こども広場内の清掃をジョイフルに委託する。(こども未来課予算計上 @800円×平日4日×12か月=153,600円)</p> <p>・要支援者の利用履歴や支援内容が把握できるようシステム改修し、職員が統一した認識で支援が行えるよう整備する。</p> <p>(システム改修費及び保守費については子育て支援センター事業に計上)</p>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	こども広場事業	課名	保育課
-------	---------	----	-----

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
駐車場使用料	1,477		1,477		1,477
施設管理負担金	29,497		29,497		29,497
備品購入費	872		872		872
その他	1,216		1,216		1,216
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
<b>事業費合計</b>	<b>33,062</b>	<b>+0</b>	<b>33,062</b>	<b>+0</b>	<b>33,062</b>
財源内訳	国庫支出金	重層的支援体制整備事業交付金	3,910	3,910	3,910
	県支出金	重層的支援体制整備事業交付金	3,910	3,910	3,910
	募金	(名称)		0	0
	その他	こども広場利用登録料	1,200	1,200	1,200
	一般財源		24,042	+0	24,042

○評価指標

評価指標(単位)	こども広場利用者数(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		16,854	18,718	
実績値(事後評価)	44,791	43,363		
目標値		45,000	46,000	47,000
(事後評価)指標実績値の要因分析	未満児の保育園等への入園割合の増加傾向に伴い、利用対象者の減少が考えられるが、利用者のうち、市民は平日利用するリピーターが多く、気軽に来館できる施設となっている。			
評価指標(単位)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)				
実績値(事後評価)				
目標値				
(事後評価)指標実績値の要因分析				

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児の親子を対象に、安心して遊べる屋内公園型施設を運営し、製作や身体を動かして遊んだりすることで、興味が広がり親子の絆を深められるようイベントや講座を開催した。</li> <li>・遊具の安全性を保てるよう、必要に応じてメンテナンスを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じることができる行事や製作を取り入れ、天候にかかわらず、1年を通して親子で遊べる広い屋内施設として、市内外から43,363人の親子連れが利用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度更新時の登録において、申請書類の提出を求めているが、令和8年度の入館システムの更新時に合わせ、更新時の事務を見直す必要がある。</li> <li>・子育て親子にとってさらに魅力のある施設になるよう遊具や施設内の環境、開催する講座の内容等を検討していく必要がある。</li> </ul>

作成担当者	こども教育部	保育課	子育て支援センター	職名	所長	氏名	宮島 摂子	連絡先(内線)	4122
最終評価者	保育課長	氏名	塩原 清彦	担当係長	子育て支援センター	氏名	宮島 摂子		

○教育委員会の評価等【Check】

<p>評価・意見・改善提案等</p>	<p>未就学児の親子により多く来てもらえるような施設、対応、PR 等の充実が一層必要です。子育て環境が変化してきている実態もあり、他とのかかわりの広がりや要支援の視点も大事にさらに事業を進めていただくとともに、新年度見直し案について期待します。</p> <p>こども広場は、親子の愛着形成や子育ての交流、また相談の窓口として大変ありがたい場であり、天候に左右されることなく遊ぶことのできる大変魅力的な場所です。子供が安全に遊べるよう、遊具の補充や修理、買い替えや点検を適切に実施し、募金など市民の善意と愛情も生かしながら、充実した環境で親同士のつながりが持てる講座やイベントを通じて、損得感情も含めた生活の知恵を広場のイメージに取り入れていただくよう希望します。</p>
--------------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平日に多くのリピーターが利用しており、子育て中の親子にとって憩いの場として継続的に提供されている点を評価します。</li> <li>・ 具体的対応が必要な親子に対し、適切な支援を行うための方策を検討していくことは重要だと思われます。一方で、情報の範囲と扱い方、その提供範囲について慎重に判断する必要だと思われます。</li> <li>・ こども広場の施設内の環境整備により、利用者が利用しやすい施設にすることを常に考慮していることは評価します。</li> </ul>
<p>改善提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊具の買い替えなどの更新は、安全確保の観点からも不可欠です。一方で、クラウドファンディングへの依存が過度になると、安定的な更新が困難になる可能性も考えられます。持続可能な資金確保の仕組みについて、改めて検討されることを期待します。</li> <li>・ 財源の確保という意味でクラウドファンディングは有効な手段のひとつであると思いますが、寄附を募る以外の方法はないのか、またクラウドファンディングを通して本事業をどのように展開していきたいのか、単なる資金調達にならないよう検討していただきたいと思います。</li> <li>・ 未就児の入園との関係もあるが、こども広場でなければできない経験・体験をさせてほしいと考えます。また、安心・安全に利用するため、ハード・ソフト両面からの充実が必要です。</li> </ul>
<p>その他意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要なものは必要なものとし予算要求し、責任所在が不明にならないよう希望します。</li> </ul>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

<p>取り組む改善内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊具や備品の計画的な更新を進めていけるよう使用年数等を把握し管理するとともに、更新のための財源確保については、引き続き検討してまいります。</li> <li>・ 木育コーナーといったこども広場にしかない施設の特徴を生かしたイベント等について検討するとともに、親子が安心して遊べる憩いの場となるよう取組みを継続してまいります。</li> </ul>
------------------	--

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	育児支援推進事業			担当課	保育課			施策	1-4			
目的	対象	就園児及び未就園児とその保護者						新規/継続	継続			
	意図	地域との交流を深めることにより、保護者の育児不安の解消に寄与する。						会計区分	一般			
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度					
	○あそびの広場 ○病児・病後児保育事業 ○子育てネット管理			○あそびの広場 ○病児・病後児保育事業 ○子育てネット管理			○あそびの広場 ○病児保育事業					
事業費・財源	決算額	(千円)	9,159	予算額	(千円)	12,014	計画額	(千円)	1,986			
	病児保育事業負担金		1,152	病児保育事業負担金		1,696	病児保育事業負担金		1,646			
	子育てネット管理委託料		1,056	子育てネット管理委託料		1,096	その他		340			
	病後児保育協力体制構築委託料		176	病後児保育協力体制構築委託料		176						
	その他		1,224	その他		1,535						
	人件費(会計年度任用職員)		5,551	人件費(会計年度任用職員)		7,511	人件費(会計年度任用職員)					
	特定	4,429	一般	4,730	特定	4,414	一般	7,600	特定	34	一般	1,952

○事中評価

評価視点	妥当性	2	やや低い	総合評価	C
	有効性	1	低い		
	効率性	1	低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	

今後の方向性						
成果	拡充		④		②	①
	現状維持		③		⑤	
	縮小		⑥	✓		
	休廃止	⑦				
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大		

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あそびの広場は、各保育園で実施日を決め、未就園児の親子を対象に園庭開放を行っている。</li> <li>・病児病後児保育事業について、実施の意向がある市内医療機関と開設に向けて運営、実施内容などについて検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士不足により、代替保育士が見つからず受け入れ人数を制限せざるを得ない状況が生じていることから、保育人材を確保する必要がある。</li> <li>・病児病後児保育民間事業者との調整の中で発生してくる課題に対応しつつ、開設に向けた準備と開設後のスムーズな運営のためサポートしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育事業について、民間事業者が行う事業は、現在市が行っている事業より利便性が向上する(病児保育が加わる)こと、また必要見込み利用人数が民間事業者の事業のみで満たせることから、病後児保育室はぐはぐを廃止とする。</li> <li>・子育てネット管理委託料については、全国統一的に整備される新たなサイト「ここdeサーチ」の開始されることにより、サービスが重複することになるため廃止とする。</li> </ul>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	育児支援推進事業	課名	保育課
-------	----------	----	-----

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
病児保育事業負担金	1,646		1,646		1,646
子育てネット管理委託料	0		0		0
病後児保育協力体制構築委託料	0		0		0
備品購入費	0		0		0
その他	340		340		340
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
事業費合計	1,986	+0	1,986	+0	1,986
財源内訳	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金		0	0
	県支出金	子ども・子育て支援交付金		0	0
	地方債	(名称)		0	0
	その他	病児・病後児保育事業負担金他	34	34	34
	一般財源		1,952	+0	1,952

○評価指標

評価指標(単位)	病児・病後児保育の利用人数(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		100	259	
実績値(事後評価)	144	560		
目標値		50	50	50
(事後評価)指標実績値の要因分析	令和5年度の運営開始から、サービスの認知度が向上したため。			
評価指標(単位)				
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)				
実績値(事後評価)				
目標値				
(事後評価)指標実績値の要因分析				

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<p>・あそびの広場では、保育園の様子を知る場や同じ地区の人とのつながりの場として、未就園児の親子の支援を目的に保育園の園庭開放を実施し、延べ72組が参加した。</p> <p>・病後児保育室を複数人が利用する場合は、症状や年齢を考慮しそれぞれに部屋を分けて保育を行った。また、他児と離れて身体を休めることが望ましい場合などは、別部屋の静かな環境で保育を行った。</p>	<p>・あそびの広場は、同じ地区で年齢の近い子どもを持つ親同士が知り合うきっかけにもなり、子どもの様子などをお互いに話しながら交流ができた。</p> <p>・病後児保育では、病気回復期にあって集団生活が困難な児童が専用の保育室で無理をしない範囲でゆったりと過ごすことができた。</p> <p>・安心して子どもを預けられる場所があることで、子どもが病気になる時の不安の軽減や仕事を休まずに済むことで経済的な負担の軽減を図り、仕事と子育ての両立しやすい環境を整えている。</p>	<p>・病児保育の受け入れ先が松本市ということもあり、利用者の居住地域を地区別で見ると広丘地区・吉田地区が多く、松本市から遠い地区の利用について検討する必要がある。</p>

作成担当者	こども教育部	保育課	保育園運営係	職名	係長	氏名	上村 久美	連絡先(内線)	3172
最終評価者	保育課長	氏名	塩原 清彦	担当係長	保育園運営係長	氏名	上村 久美		

○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>今後ますます充実が必要となる事業として、あそび広場や病児・病後児保育について、さらにPRを進め、子育て支援の選択肢が広がっていることを保護者が一層実感できるようにしていく必要があります。あそびの広場は、保育園の様子や雰囲気を知るための大切な機会であるとともに、同じ地域で子育てをする親同士がつながることのできる貴重な場であり、継続を望む声が大い事業です。</p> <p>病児・病後児保育については、利用人数の多さからも必要性が高まっており、吉田・広丘方面にも1施設を整備すべきと感じます。民間との連携を進めることには大きな意義があり、保育士不足という課題に対応するためにも、無資格者でも加配が可能となる教育的システムの充実や、保護者や地域住民が保育に関わることで意義や利点を感じられるような仕組みづくりが求められています。</p>
-------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あそびの広場の開園を通じて、年齢の近い子どもを持つ保護者同士が知り合うきっかけとなり、交流の場を継続的に提供している点を評価します。</li> <li>・ 本事業は、塩尻市が安心して子育てをできる場所かが評価される重要な事業であると思いますので、引き続きニーズに沿った事業の実施を期待します。また、埋もれてしまっているニーズがないか検証していくことも求められると思います。</li> <li>・ 保護者不安解消に貢献できている事業展開は評価できます。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病児病後児保育を担う民間事業者との調整において生じる課題に対して、十分な対応を図り、子育て世代が安心して利用できる環境づくりに努めていただきたいと存じます。</li> <li>・ 病後児保育の民間への移行があるものの、他の事業も含めた評価のあり方について検討していただきたいと思います。また、保育士確保に向けて、塩尻市で保育士として働くことの魅力を付加できないか検討する必要があると思います。</li> <li>・ 保育士確保のため、待遇改善も含め、潜在的な保育士（保育士のOBなど）の活用策を検討していただきたいと存じます。（マンパワーなくして成り立たない事業であるため。）</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの自治体でも保育士不足であるので、抜本的な見直しが求められています。病児・病後児保育は、行政がすべて抱え込まず、民間事業者との協力も不可欠です。</li> </ul>

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病後児保育事業については、既存施設と民間事業者との間で積極的に情報共有を行い、サービスに差が生じないよう調整に努めてまいります。</li> <li>・ 保育士の確保については、処遇改善等に取り組んでおりますが、ICTの活用や保育士資格がなくてもできる業務の見直しを継続することで、潜在的保育士を含め保育人材の確保に努めてまいります。</li> </ul>
-----------	--

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	元気っ子応援事業	担当課	こども未来課	施策	1-5						
目的	対象	18歳未満の子ども・その保護者			新規/継続	継続					
	意図	一人ひとりの個性や特性を大切にしたい切れ目のない支援体制を構築する。			会計区分	一般					
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度		令和7年度		令和8年度						
	○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施		○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施		○相談支援の実施 ○小中学校フォローアップ訪問の実施 ○保護者支援(教室、講演会) ○幼児期の支援(ことばの相談・教室、のびのび会) ○応援会議の実施						
	決算額 (千円)	5,243	予算額 (千円)	6,779	計画額 (千円)	6,620					
	相談等謝礼	3,153	相談等謝礼	3,884	相談等謝礼	3,736					
費用弁償	203	費用弁償	628	費用弁償	618						
ことばの教室運営委託料	1,313	ことばの教室運営委託料	1,401	ことばの教室運営委託料	1,401						
その他	574	その他	866	その他	865						
人件費(会計年度任用職員)	0	人件費(会計年度任用職員)	0	人件費(会計年度任用職員)							
特定	1,413	一般	3,830	特定	1,413	一般	5,366	特定	1,413	一般	5,207

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	A
	有効性	4	高い		
	効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど点数は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	

今後の方向性							
成果	拡充		④		②		①
	現状維持		③	✓	⑤		
	縮小		⑥				
	休廃止	⑦					
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気っ子事業に関する保護者の意見、満足度を聞くため、元気っ子相談から継続的に相談を受けた保護者にアンケートを実施する予定。</li> <li>・小中学校フォローアップ訪問の学年の実施時期の変更、シートの改善を図った。</li> <li>・のびのび会(幼児期の親子支援教室)の運営方法の見直しに向けた関係課との話し合いを実施した。(保護者目線に立った効果的な運営について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび会では、参加者も少ない回もあり、回数・方法の検討が必要。</li> <li>・賃金単価の上昇により、託児保育士派遣委託業者から委託単価の見直しの要望がある。</li> <li>・ことばの教室の新規待機者が増加し、通所までに時間がかかる状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび会の実施回数を見直しにより削減を図る。(△159,000円)運営方法や実施主体に関しては関係課と話し合いを継続し、令和9年度に見直しをした業務分担で実施する。</li> <li>・託児保育士派遣委託単価の増額は、のびのび会の回数を削減したことにより、既存の予算内で可能。</li> </ul>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	元気っ子応援事業	課名	こども未来課
-------	----------	----	--------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
相談等謝礼	3,736		3,736		3,736
費用弁償	618		618		618
ことばの教室運営委託料	1,401		1,401		1,401
その他	865		865		865
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
<b>事業費合計</b>	<b>6,620</b>	<b>+0</b>	<b>6,620</b>	<b>+0</b>	<b>6,620</b>
財源内訳	国庫支出金	地域生活支援事業費等補助金	1,413	1,413	1,413
	県支出金	(名称)		0	0
	地方債	(名称)		0	0
	その他	(名称)		0	0
	一般財源		5,207	+0	5,207

○評価指標

評価指標(単位)	支援会議参加数(回)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		63	82	
実績値(事後評価)	157	225		
目標値		160	160	160
(事後評価)指標実績値の要因分析	学校等関係機関に支援会議の必要性を積極的に促してきた。学校側も他機関と連携する必要性を重視してきている。			
評価指標(単位)	年長児の継続相談実施率(%)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		66.6	52.5	
実績値(事後評価)	72.9	79.7		
目標値		80.0以上	85.0	85.0
(事後評価)指標実績値の要因分析	元気っ子相談後のフォローアップで保育園・幼稚園を訪問した際に、継続相談の必要性を積極的に促してきた結果が表れている。			

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中児の元気っ子相談(実施率99.1%・実人数476人)、継続相談、小中学校支援会議参加、保育園・幼稚園・小中学校においてのフォローアップ訪問を例年通り実施した。</li> <li>・医療相談(17人)、ことばの相談(実人数65人)、心理検査(実人数122人)、作業療法士巡回相談(延べ118人)を実施した。</li> <li>・ペアレントサポート講座(全4回コース、受講者延べ48人)を実施した。</li> <li>・幼児のためのことばの教室の運営を社会福祉協議会に委託し、34人に対し247回の言語聴覚士による訓練を実施した。</li> <li>・未就園児を対象とした元気っ子のびのび会(1歳児クラス2クラス、2歳児クラス3クラスで延べ101回開催)を実施した。</li> <li>・支援者側の資質を高めるため、元気っ子応援会議や元気っ子相談員向けの研修を5回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気っ子相談後のフォローアップ支援に行われる支援会議の回数は、昨年度より約40%増加し、就学後の個々の発達にあった切れ目のない支援を実施することができた。</li> <li>・年長児の継続相談実施率は昨年度より7%増加し、個々に応じた就学に向けてのフォローが充実してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続相談、支援会議の回数は増えてきているが、保護者(相談する側)の元気っ子相談等に関する意見・感想等を聞き、更に満足度を高める事業にしていく必要がある。</li> </ul>

作成担当者	こども教育部	こども未来課	元気っ子・若者サポート係	職名	課長補佐	氏名	長岡 春美	連絡先(内線)	3187
最終評価者	こども未来課長	氏名	竹中 康成	担当係長	元気っ子・若者サポート係長	氏名	長岡 春美		

○教育委員会の評価等【Check】

<p>評価・意見・改善提案等</p>	<p>子どもの発達を支援するこの事業は、ことばの教室のニーズも高く、一人の子どもを長期にわたって継続的に支援できる、価値ある取組です。発達的な課題だけでなく、子どもたちや社会の変化に応じて事業自体の取組も変化させ、他部署等との連携を一層深めることで、さらに有意義な応援事業としていくことが重要です。保護者と伴走しながら、育児能力を非難することなく受け入れ、ライフイベントが加わっても耐性の閾値が低下しないよう、家族のストレス緩和の支援を充実し続けることが望まれます。</p> <p>年中児を対象とした元気っ子相談では、保護者と相談員が成長や伸ばしたい力を確認し、小学校に向けての相談もできるため、不安や心配を減らす取組として高く評価されており、今後も子供の個性や特性を大切にしたい切れ目のない支援の継続を期待します。</p>
--------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業のさらなる満足度向上を目指し、相談者である保護者や関係者から意見・感想を丁寧に収集している点を評価します。</li> <li>・ 地道で継続的な努力により、事業が深化していることは評価します。</li> </ul>
<p>改善提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者からの意見や満足度を把握するために実施されたアンケート調査の結果も参考にしながら、本事業の改善に積極的に取り組んでいただきたいと存じます。</li> <li>・ 支援会議の実施により、その後どのように展開されていったのか、相談者側と支援者側にとっての意義の検証も必要かと思われます。</li> <li>・ 課題と向き合うためにも、社会情勢の変化にも注視しつつ、相談者に寄り添った柔軟な対応をしていただきたいと存じます。</li> </ul>
<p>その他意見</p>	

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

<p>取り組む改善内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートの結果や支援会議など日常の相談のなかで保護者の声を大事にしなが、常に寄り添った事業となるよう改善していきます。</li> <li>・ 相談者は一人で関わるのではなくチームで関わるように意識し、最善の支援を提供できるようにしていきます。</li> </ul>
------------------	--

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名	教育再生推進事業			担当課	学校教育課			施策	2-1			
目的	対象	小学生、中学生、保護者、教職員						新規/継続	継続			
	意図	教育振興基本計画具現化に向けた教育の未来創造の推進						会計区分	一般			
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務				○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務(PDCA導入×学校の働き方改革×授業づくり強化=教育未来創造)				○教育長の職務補佐 ○学校教育に係る調査・研究 ○学校・教育関係職員への指導、助言、支援・研修 ○塩尻市教育委員会からの諮問事項に関する業務(PDCA導入×学校の働き方改革×授業づくり強化=教育未来創造)			
事業費・財源	決算額	(千円) 7,653		予算額	(千円) 9,835		計画額	(千円) 7,054				
	電話料	80		費用弁償	324		費用弁償	396				
				学校発働き方改革実証交付金	1,500		学校発働き方改革実証交付金	6,500				
				その他	165		その他	158				
	人件費(会計年度任用職員)	7,573		人件費(会計年度任用職員)	7,846		人件費(会計年度任用職員)					
特定	0	一般	7,653	特定	0	一般	9,835	特定	0	一般	7,054	

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	C
	有効性	3	やや高い		
	効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど評点は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	✓
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	✓

今後の方向性							
成果	拡充		④		②	①	✓
	現状維持		③		⑤		
	縮小		⑥				
	休廃止	⑦					
コスト	皆減	縮小	現状維持	拡大			

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<p>・学校発働き方改革実証交付金を洗馬小学校に交付し、水泳授業の完全民間委託を実証した。また、市内中学校で令和7年1月からAI採点の無償トライアルを開始したところ効果や反響が非常に大きかったため、6月から本格運用を開始した。清掃の見直しについては、令和6年度予算でモップ等を購入し、令和7年4月から清掃時間・回数を削減した日課で試行を開始した。</p> <p>・保護者に対し、取組の周知と理解を図るため、年度当初に教育長名と校長名で通知を発送した。また、教職員が市教委に直接、改革提案できるGoogleフォームの運用を開始した。</p> <p>・県教委から依頼を受け、「県・市町村教委連絡会」や「働き方改革シェアミーティング」で本市の事例を発表した。</p>	<p>・給特法改正に伴い、業務管理・健康確保措置実施計画策定や具体的な取組について総合教育会議及び学校運営協議会での報告などが義務付けられた。(令和8年4月1日施行見込)</p> <p>・水泳授業民間委託実証は児童・保護者・先生から高評価且つトータルコストは民間委託の方が低かった。一方で、現在、塩尻東小及び吉田小以外の小学校から民間委託の希望があるが、市内民間施設(ヘルスパ・SAM)だけではカバーしきれない状況にある。夏以外も水泳授業を行うか、他施設利用も視野に入れるか更なる議論が必要である。</p> <p>・公教育再生には学校、家庭、地域の連携が不可欠だが、それぞれだけの対応では限界が生じている。</p>	<p>・令和11年度までに教員の1箇月時間外在校等時間を平均30時間程度に削減することを目標とした「業務管理・健康確保措置実施計画」を策定。「学校発働き方改革推進交付金」を創設(又は経常経費として一般事業で計上)し、児童生徒・教職員・学校発の改革案の実証と好事例の横展開を推進する。</p> <p>・水泳授業民間委託実証を5校(ヘルスパ2校、SAM2校、朝日小学校屋内プール共同使用1校)に拡大し、市内全小学校の完全民間委託に向けた具体的な検討を進める。なお、行政評価で認められた場合、関連費用の予算は学校管理諸経費の経常経費として計上する。</p> <p>・学校、家庭、地域住民等が相互に連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支える社会を実現するため、本市として、文部科学省が進める「学校を核とした地域力強化プラン」の研究を開始する。</p>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	教育再生推進事業	課名	学校教育課
-------	----------	----	-------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後
費用弁償	396		396		396
学校発働き方改革実証交付金(事項要求)	6,500		6,500		6,500
その他	158		158		158
			0		0
			0		0
			0		0
			0		0
人件費(会計年度任用職員)			0		0
<b>事業費合計</b>	<b>7,054</b>	<b>+0</b>	<b>7,054</b>	<b>+0</b>	<b>7,054</b>
財源内訳	国庫支出金 (名称)		0		0
	県支出金 (名称)		0		0
	地方債 (名称)		0		0
	その他 (名称)		0		0
	一般財源	7,054	+0	7,054	+0

○評価指標

評価指標(単位)	学校発働き方改革の実践校数(校)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		0	13	
実績値(事後評価)	0	2		
目標値		2	5	13
(事後評価) 指標実績値の要因分析	長野県教育委員会から指定を受け、塩尻西小学校及び広陵中学校が学校発の働き方改革を実践した。			
評価指標(単位)	教育振興基本計画の基本目標を4つ以上グランドデザインに反映させた学校数(校)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-	13	
実績値(事後評価)	-	-		
目標値		-	8	13
(事後評価) 指標実績値の要因分析	令和6年度に策定した第2次塩尻市教育振興基本計画を学校長、教頭、教務主任、研究主任に配布し、令和7年度以降の学校グランドデザインに反映するよう促した。			

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>塩尻市教育センターの学校教育指導員2人が指導主事3人と連携し、学校教育に係る調査研究を行うとともに、問題を抱える学校・学級を伴走支援した。</li> <li>長野県教育委員会から指定を受けた塩尻西小学校と広陵中学校が、文部科学省学校業務改善アドバイザー及び信州大学准教授の伴走支援を受けながら、業務内容の可視化や、教員同士の対話による働き方改革案の検討・実証などを進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩尻西小学校と広陵中学校の取り組みを随時共有したことで、市内小中学校及び義務教育学校の教員の働き方改革に対する理解が深まり、推進に向けた機運を高めることができた。</li> <li>AI採点や清掃の見直しなど、教員同士の対話から生まれた改革案を実証したことで、令和7年度の「学校発働き方改革実証交付金」創設につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の人材不足、児童生徒の多様化、保護者や地域からの教育に対する期待感などにより、学校経営や学級運営の難しさがさらに増している。</li> <li>教員の働き方改革を推進するためには、行政・家庭・地域との連携が不可欠であり、地域総ぐるみで取り組めるよう、全市的な機運の醸成が求められる。</li> </ul>

作成担当者	こども教育部	学校教育課	児童生徒支援係	職名	課長補佐	氏名	小松 義宏	連絡先(内線)	3113
最終評価者	学校教育課長	氏名	上條 崇	担当係長	児童生徒支援係長	氏名	小松 義宏		

## ○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>教員の負担軽減と本来業務の推進のため、学校発の改革案や洗馬小学校で実証された水泳授業の民間委託など、効果のある取組は積極的に進めるべきです。市単独でも教員の業務を分離・仕分けし、「学校を核とした地域力強化プラン」の研究を進めることで、教育の未来創造に寄与できます。学校働き方改革としての新たな挑戦を高く評価するとともに、教職員の時間短縮による作業効率向上が、具体的にどのような教育利益の向上につながるのかを示すことを求めます。</p> <p>また、水泳授業のコスト削減と先生の負担軽減に加え、移動中を含めた安全確保に一層努めることを提案します。</p>
-------------	---

## ○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の自助努力のみに依存しては、迅速な改善は困難である中、学校の働き方改革において、「まず試してみる」姿勢を持ち、本格的な運用へと展開していく積極的な取り組みを評価します。</li> <li>保護者や地域からの教育に対する期待感があるということは、これまでの本市の教育に一定の評価がなされている結果だと思われま。一方で、市や学校・教員側にその期待に対応できる仕組みが構築されなければ、それは負荷になりますので、課題とその優先順位の具体的な洗い出しと関係者によるそれらの共有が重要であると思ひます。</li> <li>教員の働き改革について、本市の取り組みが先進事例になったことは評価できます。</li> </ul> <p>既存事業の見直しにより、一部が民間委託やAI化されたことは評価します。</p>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の業務の移管が容易でない教職員もいることを踏まえ、教職員および保護者への一層の周知と理解促進を図りながら、実効性のある働き方改革の推進に取り組まれることを期待します。</li> <li>教員の働き改革の推進のためには、社会情勢に相応した取り組みが求められ、保護者の理解が重要で、今まで以上の働きかけが必要であり、またさらなる学校業務の効率化が求められます。</li> </ul> <p>教育再生に不可欠な学校・家庭・地域連携のためには、一部局だけの対応ではなく統一的な対応ができる市全体の取り組みが求められます。</p>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育行政においても民間でできることは、民間の力を借りて実施いただきたい。</li> </ul>

## ○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員・保護者への丁寧な周知と理解促進を図りつつ、可能な限り早期に実効性の高い推進計画を策定し、「挑戦」と「対話」を大切にした積極的な取り組みを推進してまいります。</li> <li>教員の働き方改革の推進に向け、保護者の理解促進と学校業務の効率化に取り組むとともに、教育再生に不可欠な学校・家庭・地域の連携体制を構築に向け、「こども」に関わる部課等による部局横断的な検討を開始いたします。</li> </ul>
-----------	---

令和7年度 事務事業評価シート(ソフト事業)

○実施計画

事務事業名		教育相談支援事業				担当課	学校教育課			施策	2-5	
目的	対象	小学生、中学生、保護者、教職員						新規/継続	継続			
	意図	誰一人取り残さない学びの保障						会計区分	一般			
年度別 事業内容 (手段)	令和6年度			令和7年度			令和8年度					
	○教育支援センターによる総合的な不登校対応 ○日本語学級の運営 ○中学校「校内教育支援センター」の機能強化と小学校への「校内教育支援センター」設置促進 ○相談アプリの実証			○教育支援センターを中心とした官・民・学による総合的な不登校対応 ○匿名相談チャットアプリによるいじめ、不登校、自殺などの未然防止 ○「社会を生き抜く力」を備えたひとの育成に向けた設計図の作成 ○外国由来児童生徒の状況調査・日本語支援体制の再構築			○教育支援センターを中心とした官・民・学による総合的な不登校対応 ○匿名相談チャットアプリによるいじめ、不登校、自殺などの未然防止 ○「社会を生き抜く力」を備えたひとの育成に向けた学校目標の実践 ○新体制による日本語支援開始					
事業費・財源	決算額 (千円)		33,738	予算額 (千円)		47,578	計画額 (千円)		9,408			
	講師謝礼		1,323	講師謝礼		2,370	講師謝礼		4,201			
	相談支援員派遣委託料		444	日本語支援体制再構築事業委託料		750	日本語初期集中指導実証委託料		750			
	匿名相談アプリ使用料		1,375	匿名相談アプリ使用料		1,650	匿名相談アプリ使用料		1,650			
	その他		2,912	フリースクール利用者支援補助金・実証委託料		900	フリースクール利用者支援補助金		360			
	人件費(会計年度任用職員)		27,684	人件費(会計年度任用職員)		39,306	人件費(会計年度任用職員)					
特定		2,528	一般	31,210	特定	353	一般	47,225	特定	353	一般	9,055

○事中評価

評価視点	妥当性	4	高い	総合評価	C
	有効性	4	高い		
	効率性	2	やや低い		

評価視点 1:低い 2:やや低い 3:やや高い 4:高い

【効率性の評価視点】該当する項目が多いほど点数は高くなる

①	他の実施主体を活用しても、成果維持のままコスト削減ができない	✓
②	単位当たりのコストが前年度よりも良化している	
③	事務改善、人員見直しをしてもコスト削減の余地がない	✓
④	コスト全体に占める市の負担割合を下げる余地がない	
⑤	部分的に廃止・縮小すると成果を達成できない	✓

今後の方向性							
成果	拡充		④		②	①	✓
	現状維持		③		⑤		
	縮小		⑥				
	休廃止	⑦					
コスト		皆減	縮小	現状維持	拡大		

○事中評価(予算編成に向けた定性評価)

前年度の課題や新たな取組に関する進捗状況	当年度生じている課題等	新年度の改善・改革案(予算要求等)、段階的に見直していく事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校に関する会議等で様々な事例を研究し、支援者と繋がれていない児童生徒数の減少を目的とした支援策を検討中。</li> <li>・いずみ塾広丘駅前校が市内初の信州型フリースクールとして認証を受けた。また、田川の郷に間借りする形でフリースクールピカソが活動を始めたほか、近隣の認証フリースクール「出井番丸西」(松本市)や「木の子」(辰野町)との連携が始まった。</li> <li>・匿名相談チャットアプリの正式運用を開始した。</li> <li>・高ボッチ教室やチャレンジルームの取り組みを発信するためInstagramへの投稿を始めた。</li> <li>・外国につながる児童生徒への支援体制を再構築するため、全数調査→スクリーニング→DLAを経て、支援が必要な児童生徒の優先順位付けを行った。2学期からは日本語講師を派遣した個別支援を試行的に開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒数が増加傾向で推移しており、特に小学校での不登校が急激に増えている。</li> <li>・学校以外に多様な学びの場を確保し、4名体制となった子と親の心の支援員が積極的につないだが、依然として誰ともつながれていない不登校児童生徒がいる。</li> <li>・学校内の安心できる居場所であるスペシャルサポートルームを設置していない学校や、場所はあっても支援員がいない学校が多い。</li> <li>・日本語が全く分からず転入してくるケースや、日本の高校へ進学を目指すケースが増えている一方で、日本語講師が必要数確保できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒を地域で支える体制を構築するため不登校児童生徒支援連絡会を創設し、誰ともつながれていない不登校児童生徒をゼロにする取り組みを推進する。</li> <li>・学校内の安心できる居場所としてスペシャルサポートルームの設置校拡大や内容の充実を図る。</li> <li>・外国につながる児童生徒への支援を強化するため、DLA→支援会議→支援開始の流れを確立するとともに、必要な日本語講師を確保(求人+育成)し、日本語ゼロ児童生徒の集中支援や特別の教育課程編成による平日の取り出し支援などを行う。</li> <li>・更なる日本語指導体制の充実に向け、フリースクールの指導の実証を行う。</li> <li>※こども家庭庁の概算要求にある「地域ネットワーク構築によるこども支援事業」①地域全体で取り組むこどもの悩み相談モデル事業(国委託費100%、上限2,500万、22自治体)又は②地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援事業(国委託費100%、上限2,700万、16自治体)の獲得を目指したい。</li> </ul>

第1次評価		第2次評価	
-------	--	-------	--

事務事業名	教育相談支援事業	課名	学校教育課
-------	----------	----	-------

○ 令和8年度事業費、財源内訳(事中評価)

(千円)

項目	計画額	1次査定	1次査定後	2次査定	2次査定後		
講師謝礼(高ボッチ教室・日本語学級・不登校親の会)	4,201		4,201		4,201		
旅費(支援員日額旅費)費用弁償(日本語学級講師)	666		666		666		
消耗品費(日本語学級、SSR新規開設)	1,250		1,250		1,250		
日本語初期集中指導実証委託料	750		750		750		
匿名相談アプリ使用料	1,650		1,650		1,650		
フリースクール利用児童生徒支援補助金	360		360		360		
相談支援員派遣委託料	425		425		425		
その他(燃料費、電子複写機使用料)	106		106		106		
人件費(会計年度任用職員)			0		0		
<b>事業費合計</b>	<b>9,408</b>	<b>+0</b>	<b>9,408</b>	<b>+0</b>	<b>9,408</b>		
財源内訳	国庫支出金	教育相談体制整備事業補助金	333		333		333
	県支出金	地域自殺対策強化事業補助金	20		20		20
	地方債	(名称)			0		0
	その他	(名称)			0		0
	一般財源		9,055	+0	9,055	+0	9,055

○評価指標

評価指標(単位)	スペシャルサポートルームの設置校数(校)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		8		
実績値(事後評価)	0	8		
目標値		7	12	13
(事後評価)指標実績値の要因分析	・文部科学省の補助事業によって目標を上回る学校に設置することができた。			
評価指標(単位)	不登校児童生徒数(30日以上欠席・理由不登校)(人)			
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
中間値(事中評価)		-		
実績値(事後評価)	200	234		
目標値		前年より減	前年より減	前年より減
(事後評価)指標実績値の要因分析	・不登校生徒数はほぼ横ばい(R5:125人→R6:130人)だが、不登校児童数が増加(R5:75人→R6:104人)している。			

○事後評価

取組内容	結果・成果	課題
<p>・増加傾向にある不登校児童生徒一人ひとりに応じた学びの場を確保し、社会的自立を支援するため、新設した「塩尻市教育支援センター」が中心となり、児童生徒・家庭と学校や民間の支援者をつないだ。また、「チャレンジルーム」を開設し、eスポーツやネイル体験など児童生徒が自ら「参加したい」と思えるの講座を開催し、「動き出し」を支援した。</p> <p>・いずみ塾広丘駅前校と連携し、他者交流と個別学習支援を行う居場所を提供した。</p> <p>・いじめ、不登校、自殺などの未然防止を図るため、文部科学省から委託を受け、市内全小中学生を対象に匿名相談チャットアプリの実証を行った。</p> <p>・不登校の子どもを持つ親の会を4回開催したほか、教員向けに民間支援者の支援内容や不登校生徒と高ボッチ教室職員との対談の様子を伝える会を開催した。</p> <p>・日本語学級がある桔梗小学校と広丘小学校を中心に、日本語支援が必要な外国由来児童生徒への日本語指導を行った。</p>	<p>・教育支援センターの設置により、家庭・学校・民間支援者をつなぐ動きが強まり、信州型フリースクールの認証取得を目指す民間団体との連携、多様な講師を迎えた「チャレンジルーム」講座の開催など、一人ひとりに応じた多様な学びの場をつくることができた。</p> <p>・学校にも高ボッチ教室にも通っていない児童生徒数が増え、「チャレンジルーム」などへの参加をきっかけに学校や高ボッチ教室に通うようになった。</p> <p>・匿名相談チャットアプリに約3割の児童生徒から延べ5万回超の入力があり、心配な相談を受け、これまで未支援だった児童生徒74人を新たな支援につなげた。また、実証開始後、各学校におけるいじめの認知件数が大幅に上がった。</p>	<p>・依然として不登校児童生徒数が増加傾向で推移していることや、「学校に通うこと」自体を目的としない不登校支援の考え方が社会全体に浸透してきていることから、不登校児童生徒数の減少のみを目標とするのではなく、支援者と繋がっていない児童生徒数の減少を目的とした支援策の実行が求められる。</p> <p>・コロナ禍後、日本語指導が必要な外国由来の児童生徒が増え、日本語がしゃべれないまま転入してくるケースや、日本で高校進学を目指すケースが増えていることから、本市の日本語支援体制を再構築する必要がある。</p>

作成担当者	こども教育部	学校教育課	児童生徒支援係	職名	課長補佐	氏名	小松 義宏	連絡先(内線)	3113
最終評価者	学校教育課長	氏名	上條 崇	担当係長	児童生徒支援係長	氏名	小松 義宏		

## ○教育委員会の評価等【Check】

評価・意見・改善提案等	<p>市内の不登校等の児童生徒の増加率は憂慮すべき状況であり、全ての子育て関係者が意識して取り組むべき課題です。高ボッチ教室やフリースクール、塩尻市教育支援センターなど支援施設の充実により、児童生徒・家庭・学校や民間支援者をつなぐ動きが強まったことは評価できますが、支援者とつながっていない児童生徒への個別支援や、乳幼児期からの行政・保護者同士のつながりを踏まえた切れ目ない支援が一層必要です。不登校児童へ多様な選択肢を示すとともに、心の逆境に向き合い登校し続ける成長も見つめ直し、登校の二極化をどう捉えるか考え続ける必要があります。</p> <p>また、日本語指導やスペシャルサポートルームの拡充、支援員の確保など、保護者・地域と連携した重層的支援体制の強化が求められます。</p>
-------------	--

## ○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度以上に多様な手立てを講じ、急増する不登校児童生徒への支援を手厚く進めている点を評価します。</li> <li>・ 様々な取り組みの不登校児童・生徒対策により、地道な努力の継続から徐々に成果がでてきていることは、一定の評価をします。 学校にも高ボッチ教室にもこれなかった児童生徒が、第一歩を踏み出したことは評価に値します。</li> </ul>
改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校における不登校の急増という現状を踏まえると、常時教職員が配置されたスペシャルサポートルームの設置は喫緊の課題と考えられます。人件費等の課題はあるものの、「誰一人取り残さない学びの保障」に向けた積極的な取り組みを期待します。</li> <li>・ 不登校増加における要因について、教員側、保護者側、子ども側それぞれに認識のずれがないか、チャットアプリによるいじめの認知件数の増加に伴う対応がどうであったのかの検証を望みます。</li> <li>・ 匿名相談チャットアプリの実証成果を今後どのように生かすかが、重要であることから、潜在的な声なき声にどう対処すべきかを校内で共有するとともに、継続的な支援が必要です。</li> </ul>
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校児童生徒を抱える保護者のケアも重要です。保護者への支援を充実させることが、結果として子どもたちの学びの保障につながるものと考えます。</li> </ul>

## ○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文部科学省のスペシャルサポートルーム支援員増員の方向性を踏まえ、必要な財政支援を受けながら、市内全小学校でのスペシャルサポートルーム設置と支援員配置を進め、「誰一人取り残さない学びの保障」に向けて取り組んでまいります。</li> <li>・ 匿名相談チャットアプリを継続運用し、子どもたちの小さなSOSを確実に受け止めて支援につなげてまいります。また、相談内容の個別分析を進め、潜在的な「声なき声」への対応を校内で共有し、いじめ・不登校対応に活かしてまいります。</li> </ul>
-----------	---

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点(年度)	近年の傾向	R6	R7	R8	比較	目指す方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期			
「主体的な学びによる知・徳・体の向上」に関する指標	4 【体】 健やかな体の育成と規則正しい生活習慣の定着	4-1 生活習慣や健全な食習慣の定着	朝食を食べる児童・生徒の割合	小6	96.4%	R5	↘	95.7%			前年	→	国・県よりも高い割合を維持	93.9%	全国平均	全国学力・学習状況調査	1年	
				中3	94.2%	R5	↘	91.8%			前年	→	91.2%					
			学校給食レストランの開催回数	全市民	12回	R5	↗	23回			前年	→	16回	—	—	塩尻市		
			「こんこんクッキング」動画の平均再生回数	全市民	2,374回	R5	→	2,375回			前年	↗	2,500回	—	—			
			新規掲載レシピ数	全市民	26件	R4	→	26件				→	現状の数を維持	—	—			
			規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・生徒の割合)	小6	92.4%	R5	→	92.1%				前年	→	90.3%	全国平均	全国学力・学習状況調査		
		中3		94.6%	R5	→	94.7%			前年	→	91.3%						
		授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりの読書時間が30分以上の児童・生徒の割合	小6	42.4%	R5	—	—				—	—	37.3%	全国平均	全国学力・学習状況調査			
			中3	35.2%	R5	—	—			—	—	28.4%						
		4-2 運動に親しみ、健康な体をつくる習慣の定着	体力の合計点 握力、反復横跳び、50m 走、ボール投げ等による結果を点数化して合算したもの)	小5男	52.3点	R4	→	52.15点				—	↗	国・県よりも高い割合を維持	全国平均	全国体力・運動能力、運動習慣調査		1年
				小5女	56.1点	R4	↘	53.94点			—	↗	54.3点					
				中2男	41.7点	R4	↗	43.02点			—	→	41.0点					
				中2女	47.2点	R4	↗	48.96点			—	→	47.4点					
			運動が好きと思っている児童・生徒の割合	小5男	73.2%	R4	↘	68.3%				—	↗	国・県よりも高い割合を維持	全国平均			
小5女	56.9%			R4	↘	48.7%			—	↗	69.8%							
中2男	62.3%			R4	↗	66.5%			—	→	54.9%							
中2女	46.0%			R4	↘	36.7%			—	↗	62.1%							
5 きめ細やかな支援による教育の平等な提供	5-1 支援が必要な子どもへのきめ細やかな教育・支援の充実	校内教育支援センターの設置校数	小中学校	0校	R5	↗	8校			前年	↗	13校	—	—	市教委調査	1年		
		特別支援教育に関する研修実施回数	教員	9回	R4	↗	14回			—	→	現状の研修実施回数を維持	—	—				
		困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている児童・生徒の割合	小6	73.5%	R5	↘	70.9%				前年	↗	80.0%	全国平均	全国学力・学習状況調査			
			中3	66.1%	R5	↘	64.2%			前年	↗	73.0%	66.4%					
	5-2 支援が必要な家庭への対応の充実	すべての児童・生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合	全市民	45.6%	R5	↗	46.9%			前年	↗	前年度よりも高い割合を維持	—	—	市民意識調査	1年		
	6 学校と家庭、地域の連携・協働による教育体制の整備	6-1 学校と家庭、地域との連携による地域の教育力の活用	コミュニティ・スクール事業項目数	学校	426件	R5	↘	412件			前年	↗	430件	—	—	市教委調査	1年	
			部活動指導員及び外部指導者の人数	人	38人	R5	↗	48人			前年	↗	58人以上(市内全校の全部活に1名以上)	—	—			
			休日部活動の地域移行数	部活	0部	R5	→	0部			前年	↗	58(市内全校の全部活動)	—	—			
			地域行事の参加割合	小6	85.1%	R5	—	—				—	—	国・県よりも高い割合を維持	全国平均	全国学力・学習状況調査		
				中3	57.0%	R5	—	—			—	—	57.8%					
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童・生徒の割合			小6	82.7%	R5	—	—				—	—	78.1%	全国平均	全国学力・学習状況調査			
		中3	67.6%	R5	—	—			—	—	63.2%							
6-2 学校外の学びの場や居場所の整備		放課後児童クラブ等の申込みに対する充足率	児童	100.0%	R5		100.0%				→	100.0%	—	—	市教委調査	1年		
		公民館事業の子どもの参加者数	児童・生徒	2,926人(117講座)	R4	↗	5,325人(159講座)			—	→	現状の参加人数を維持	—	—				
		こども用Wi-Fiを設置した児童館数	児童館	1館	R5	↗	2館				↗	9館	—	—				
7 安心・安全な教育環境の整備	7-1 学校教育施設の整備	長寿命化改良工事の実施校数	小中学校	0校	R5	→	0校				↗	2校	—	—	市教委調査	1年		
		体育館照明設備のLED化の実施棟数	体育館	8棟	R5	→	0棟				↗	13棟	—	—				
	7-2 交通安全・防災・減災の強化	通学路の安全点検に基づく対策実施箇所数(平成24(2012)年度からの延べ件数)	-	271箇所	R5	↗	281箇所				↗	505箇所	—	—				
	7-3 時代に合った学校運営体制の整備	学校の働き方改革における改善項目数	教員	4項目(全14項目)	R5	→	4項目(全14項目)				→	4項目(全14項目)	—	—				
		1ヵ月1人当たりの平均時間外勤務時間が45時間以下の公立小中学校数	教員	10校	R4	↗	13校				↗	13	—	—			県調査	1年

しおじりこどもまんなかプラン成果指標 【今年度公表した新規計画であるため、令和7年度実績から評価（※今年度は現状値と目標値を確認するための参考資料として添付）】

計画全体の成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総] 合計特殊出生率（過去3年平均）	1.33 (R3~5平均)					1.48 (R14:1.52 R32: 1.82を目指す)
[六次総] 「子育てしやすいまちである」と思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	59.4% (R5)					66.4% (R5から7%増)
[六次総] 「子どもたちがいきいきと暮らせる」と思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	61.2% (R5)					68.2% (R5から7%増)
[六次総] 「自分にはよいところがある」と思うこどもの割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:84.3% (R6) (国84.1% 県84.5%) 中3:83.3% (R6) (国83.3% 県82.8%)					国・県より高
[六次総] 「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」と思うこどもの割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:91.4% (R6) (国91.7% 県91.9%) 中3:91.2% (R6) (国89.8% 県90.3%)					国・県より高
[六次総] 将来の夢・目標を持っているこどもの割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:81.3% (R6) (国82.4% 県82.3%) 中3:66.1% (R6) (国66.3% 県67.0%)					国・県より高
こども自身の生活満足度 (出典:こどもと子育て家庭の生活状況調査)	小5:7.45 (R6) 中2:6.64 (R6) 高2:6.61 (R6) ※10点満点					現状値より高

基本方針 1-1

こどもが権利の主体であることが地域全体で共有され、その権利が尊重されている

成果指標	指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
	こどもの権利や意見が大切にされていると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	新規のため現状値なし					70% (こども大綱「こどもまんなか社会の実現に向かっていていると思う人の割合」と整合)
	こどもの権利や意見が大切にされていると思うこどもの割合 (出典:こどもと子育て家庭の生活状況調査)	新規のため現状値なし					70% (こども大綱「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえていると思うこども・若者の割合」と整合)
	*CAP(キャップ)研修実施校数	小学校 3校(R6) (毎年小学校数校ずつローテーションで実施)					小・中学校全校で実施

基本方針 1-2

こどもの意見や気持ちが、社会の様々な場面に反映されている

成果指標	指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
	しおじりこども・若者いけんひろばの延べ参加者数	22人(R6)					360人 (1テーマ6回を3テーマ各20人)

基本方針 2-1

母子が安心して妊娠・出産・乳児期を過ごせている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]妊娠知覚時にポジティブな感情を持った人の割合 (出典:妊娠届出時アンケート)	94.0% (R3～5平均)					95% (高割合を維持)
[六次総]身体的リスクが小さい20～39歳で出産する割合	94.2% (R3～5平均)					96% (高割合を維持)
[六次総]*あんしんサポートルームの延べ利用者数	2,596人(R5)					3,700人 (出生数減少の中、相談充実による増)
支援が必要な妊婦への*マタニティサポーターによる支援率	91.7%(R5)					95% (高割合を維持)

基本方針 2-2

幼児期のこどもが心豊かに成長できている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]就園前のこどもの*子育て支援センタープレイルームの利用割合	54.7%(R5)					61% (R5から7%増)
[六次総]希望の保育園等に就園しているこどもの割合	99.2%(R5)					99.3% (希望増加見込の中、高水準を維持)

基本方針 2-3

地域の中にこどもの遊び・学びの場や居場所が充実している

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]*児童クラブ等の申込に対する充足率	100%(R5)					100% (希望増加見込の中、受皿確保により維持)
[六次総]こどもたちが希望するスポーツ・文化芸術活動に参加する機会があると感じる市民の割合(出典:市民意識調査)	40.3%(R5)					47.3% (R5から7%増)
図書館における児童書の貸出冊数(0～14歳の児童1人当たり)	32.7冊(R5) (県内平均18.9冊 (19市中1位))					33冊 (県内上位を維持)
こどもの居場所づくり事業(食事の提供や学習支援などの延べ実施回数)	273回(R5)					360回 (小中学校の通学区域15 ×月2回)

基本方針 2-4

こどもが安全・安心な環境の中で健康に過ごせている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]歩道や信号機が整備されていて安心であると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	42.0%(R5)					49.0% (R5から7%増)
麻疹・風しん予防接種Ⅱ期の接種率	92.6%(R5)					95% (国の目標値と整合)
[六次総]毎日朝食を食べるこどもの割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:95.7%(R6) (国93.7% 県95.8%) 中3:91.8%(R6) (国91.2% 県93.5%)					国・県より高
[六次総]学校給食での市内産農産物利用率(野菜)	34.1%(R5)					36.5% (1年につき0.5%増)

基本方針 2-5  
一人ひとりの育ちにていねいに向き合う教育が実践されている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]教育環境(小中高校)が整っていると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	61.4%(R5)					68.4% (R5 から7%増)
[六次総]学力調査における平均正答率(出典:全国学力・学習状況調査)	小6:算数・国語とも国・県より高 (R6)中3:数学・国語とも国・県より高(R6)					国・県より高
[六次総]総合的な学習の時間に自ら課題を立てて学習活動に取り組む児童・生徒の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:77.9%(R6) (国81.3% 県77.8%) 中3:83.2%(R6) (国82.2% 県82.1%)					国・県より高
[六次総]塩尻の子どもたちはコミュニケーション力が高いと思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	22.7%(R5)					30.7% (R5 から8%増)
[六次総]*コミュニティ・スクール項目数	412 件(R5)					430 件 (取組項目数を維持)
[六次総]地域の大人や企業は子どもたちの教育に協力的であると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	39.6%(R5)					46.6% (R5 から7%増)
[六次総]学校施設が適切に維持管理されていると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	52.2%(R5)					59.2% (R5 から7%増)
[六次総]不登校児童・生徒のうち、学校内外の機関で相談指導を受けた児童・生徒の割合	58.5%(R5)					100%
[六次総]困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている児童・生徒の割合 (出典:全国学力・学習状況調査)	小6:70.9%(R6) (国67.1% 県68.1%) 中3:64.2%(R6) (国67.5% 県66.7%)					小6:77.5%中3: 72.5%
[六次総]すべての児童・生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	45.6%(R5)					現状値より高

基本方針 2-6  
義務教育終了後も切れ目のない支援が受けられる

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
高校訪問実施校数	7 校(R6)					15 校 (進学先が多岐に渡る中、訪問校の増加を目指す)
義務教育期から継続している支援対象者数(中断を含む)	11 人(R6)					20 人 (相談充実や連携強化により増加を目指す)
[六次総]やりたい仕事を見つけやすいと思う市民の割合(出典:市民意識調査)	12.1%(R5)					20.1% (R5 から8%増)
[六次総]就職サイトへ求人掲載する市内企業数	60 社(R6)					110 社 (1年につき10社増)

基本方針 3-1  
結婚・妊娠・出産の希望が叶えられている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]家庭のあり方を考えるための講演会参加者数	60 人(R5)					100 人 (参加者増により理解浸透を拡大)
[六次総]多様な家族観や結婚観が尊重される地域であると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	21.8%(R5)					28.8% (R5 から7%増)

基本方針 3-2

充実した子育て支援により無理なく安心して子育てができています

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]子育て支援・補助が手厚いと感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	36.7%(R5)					43.7% (R5 から7%増)
[六次総]安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	48.0%(R5)					56.0% (R5 から8%増)
子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができると感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	51.2%(R5)					58.2% (R5 から7%増)
[六次総]就園前のこどもの一時的保育の登録割合	24.9%(R4)					33.0% (R4 から8%増)
*ファミリーサポートの延べ利用者数	825 人(R5)					927 人 (子ども・子育て支援事業 計画と整合)

基本方針 3-3

地域みんなで子育てを応援し、子どもや子育て家庭にやさしい地域になっている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる市民の割合(20～49歳) (出典:市民意識調査)	36.4%(R5)					28.4% (R5 から8%改善)
[六次総]子育ての不安や悩みなどを解決するためのサポートがなされていると感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	35.0%(R5)					43.0% (R5 から8%増)
[六次総]自営型*テレワーク事業(* KADO)による就労人数	396 人(R5)					600 人 (就労希望するテレワーカーの8 割以上就労を目指す)
子育てを楽しんでいる人の割合(就学前のこどもの保護者) (出典:子ども・子育てアンケート調査)	90.1%(R5)					95% (高割合を維持)
父親の育児休業取得率	17.0%(R5)					35% (R5 から倍増)
社員の子育て応援宣言の登録企業数(市内)	61 社(R6)					70 社 (1年につき2社程度増)
仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合 (出典:市民意識調査)	37.4%(R5)					44.4% (R5 から7%増)

基本方針 4-1

家庭の貧困による格差や困難が解消され、貧困の連鎖が断ち切れている

成果指標

指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
相対的貧困家庭と一般家庭の子ども(小・5・中・2・高・2)の大学以上の進学意向率の差 (出典:子どもと子育て家庭の生活状況調査)	19.3%(R6)					10% (R6 から半減を目指す)
*子どもの貧困率	12.1%(R6)					現状値より低
子どもの貧困対策*ケースワーカー担当ケース数	30 件 (R6 暫定値)					60 件 (R6 から倍増)
*子どもの学習・生活支援事業による支援回数	356 回(R5)					700 回 (R5 から倍増)
*母子・父子自立支援員による*母子・父子自立支援プログラムの策定件数	5 件 (R6 暫定値)					10 件 (R6 から倍増)

基本方針 4-2

障がいのある子どもや医療的ケアを必要とする子どもと家庭が十分に支援されている

成果指標						
指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]暮らしている地域は、心や体などに障がいがあっても安心して暮らせると感じる市民の割合 (出典:市民意識調査)	24.5%(R5)					32.5% (R5 から 8%増)
福祉に関する学習を実施した学校数(小・中学校、高校)	15 校(R5)					17 校 (市内全校)
[六次総]福祉就労から一般就労への移行数	7 件(R5)					17 件 (国指針と整合)
障がいにより差別や嫌な思いをした経験をした人の割合 (出典:障がい者福祉に関するアンケート調査)	60.3%(R5)					47.0% (R8 に 50%を目指し、 以降 1 年に 1%改善)
障がい児に対する福祉サービスの 1 か月あたり利用者数(*放課後等デイサービス、*児童発達支援など)	238 人(R5)					338 人 (18 歳以下人口減少の中、 障がい者福祉プランの R8 目標を維持)

基本方針 4-3

児童虐待の防止、ヤングケアラーへの支援、社会的養護が十分行われている

成果指標						
指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]家庭児童相談件数	1,898 件(R5)					2,000 件 (相談充実による増加と発生予防による抑制を合わせ微増)
*子育て支援ショートステイ事業の延べ利用日数	50 日(R6 暫定値)					50 日 (養育環境の支援による予防効果を考慮し現状維持)

基本方針 4-4

ニートやひきこもりの子ども・若者やその家族が必要な支援につながっている

成果指標						
指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値
相談窓口での相談件数 (子ども未来課、福祉支援課、健康づくり課、*塩尻・山形・朝日地域障がい者基幹・総合相談支援センターボイス、*まいさば塩尻)	159 件(R5)					200 件 (相談窓口の周知等により増加を目指す)

基本方針 4-5

生きづらさを抱える子ども・若者のいのちが支えられている

成果指標						
指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
20 歳未満の自殺死亡率(人口 10 万対) (出典:地域自殺実態プロファイル)	5.3 (R1 ~ R5 合計) 全国 3.6					全国より低

基本方針 4-6

制度の枠を超えた包括的な支援により、誰一人取り残さない支援が行われている

成果指標						
指標名	現状値	R7	R8	R9	R10	目標値(R11)
[六次総]地域に困った時に相談できる人が身近にいると思う市民の割合 (出典:市民意識調査)	47.3%(R5)					55.3% (R5 から 8%増)
[六次総]地域の人困っていたら手助けしたいと考える市民の割合 (出典:市民意識調査)	70.4%(R5)					77.4% (R5 から 7%増)
[六次総]重層的な支援体制(重層的支援会議)で対応した新規ケース数	R7 事業開始のため現状値なし					10 件
*アウトリーチ等を通じた継続支援事業の実施件数	R7 事業開始のため現状値なし					10 件

塩尻市社会教育推進計画に係る指標一覧 【今年度公表した新規計画であるため、令和7年度実績から評価（※今年度は現状値と目標値を確認するための参考資料として添付）】

基本理念	基本目標	施策	成果指標	現状値 R6	実績値 R7	目標値 R8	指標設定根拠
つながって多くの気づき発見で学び広がり多様な暮らし	1 安心して暮らせる社会の実現	1 社会人権教育推進事業	1 多様な家族観や結婚観が尊重される地域であると思う市民の割合	21.9%		25.8%	総合計画施策指標
		2 女性相談事業	2 子どもたちが希望するスポーツ・文化芸術活動に参加する機会があると感じる市民の割合	39.6%		44.3%	総合計画施策指標
		3 青少年育成事業	3 地区人権教育推進会議・分館人権学習会の実施回数	50回		55回	社会教育推進計画独自指標
		4 青少年育成施設運営事業	4 女性相談件数	613件		現状維持	事務事業評価指標
			5 市内高校生対象啓発ワークショップの満足度割合	93.2%		増加	事務事業評価指標
			6 青少年健全育成事業補助金の交付団体数	75団体		75団体	事務事業評価指標
			7 青少年育成センターが実施する出前講座の回数	1回		2回	事務事業評価指標
	2 公民館ほか社会教育施設を拠点とした学びと交流の推進	1 公民館事業	1 学びたいことを学べる機会があると思う市民の割合	40.9%		55.7%	総合計画施策指標
		2 公民館施設管理事業	2 公民館の来館者数(中央公民館+地区館)	171,012人		225,000人	総合計画施策指標
		3 生涯学習支援事業	3 公民館事業参加人数	26,524人		26,000人	事務事業評価指標
		4 総合文化センター管理事業	4 ロマン大学入学者に占める新規入学者の割合	47.7%		80.0%	事務事業評価指標
		5 北部交流センター管理事業	5 ロマン大学の講座を受講したことにより、新しい知識や技能が身についたと感じる参加者の割合	83.8%		増加	事務事業評価指標
		6 学校開放事業					
	3 芸術文化に触れ、活動する機会の充実	1 芸術文化事業	1 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしいと思う市民の割合	34.2%		41.4%	総合計画施策指標
		2 全国短歌フォーラム事業	2 芸術文化事業参加団体数	133団体		150団体	事務事業評価指標
		3 文化会館運営事業	3 芸術文化事業参加来場者数	5,390人		7,000人	事務事業評価指標
		4 文化会館改修事業	4 全国短歌フォーラムin塩尻市内投稿者数	111人		145人	事務事業評価指標
			5 文化会館(レザンホール)の利用者数	80,021人		— 改修予定	総合計画施策指標
			6 文化会館自主事業実施数	34事業		— 改修予定	事務事業評価指標
			7 文化会館自主事業来場者数	26,656人		— 改修予定	事務事業評価指標

## 塩尻市スポーツ推進計画

### 計画の指標及び推進状況

#### 基本目標 1 子どものスポーツ活動の推進と充実

指標	基準値	R6実績	目標値 (R14)
運動習慣事業（ハキサスロン）の実施回数	14 回 (R5)	19 回	19 回 (市内小学 3 年 生全クラス)
指導者向けの講習・教室等の開催回数	年 0 回 (R4)	年 0 回	年 5 回以上

#### 基本目標 2 多様性を尊重した生涯スポーツ活動の推進

指標	基準値	R6実績	目標値 (R14)
週 1 日以上、運動やスポーツに親しむ 20 歳以上の割合	43.9% (R5)	45.6%	55.00%
子どもから高齢者まで誰でもスポーツに取り組める環境があると感じる人の割合	38.8% (R5)	38.6%	50.0%

#### 基本目標 3 競技力の向上

指標	基準値	R6実績	目標値 (R14)
スポーツ少年団登録者数	492 人 (R5)	507 人	470 人
市民スポーツ祭参加者数	1,674 人 (R5)	1,754 人	2,000 人

#### 基本目標 4 スポーツの持つ力を活用した地域活性化の推進

指標	基準値	R6実績	目標値 (R14)
体育施設の利用者数	163,879 人 (R5)	182,669 人	190,000 人
市内の総合型地域スポーツクラブの数	1 クラブ (R4)	2 クラブ	2 クラブ

## 第2次塩尻市立図書館サービス計画成果指標一覧

基本機能	具体的な取組		成果指標		2022 実績	2024 実績	2026 目標	2029 目標	2032 目標
サービス基盤の充実	1	多様な資料の収集、提供、保存と地域資料の充実	1	市民一人あたりの貸出冊数(冊)	9.8	<b>8.3</b>	10.0	10.0	10.0
			2	市民の実貸出利用率(%)	14.3	<b>13.2</b>	16.2	18.1	20.0
	2	調査や相談、情報提供支援の強化と専門性の向上	3	レファレンスの受付件数(件)	1,987	<b>1,409</b>	2500	2500	2,500
			4	レファレンス満足度(%)	97.6		増加	増加	増加
			5	データベース利用件数(件)	489	<b>286</b>	559	630	700
			6	職員研修機会の提供回数(件)	5	<b>10</b>	10	10	10
	3	すべての市民に対して図書館サービスを提供する体制づくり	7	一度でも図書館を利用した市民の割合(%)	71.9		76.3	80.6	85.0
			8	アウトリーチサービスの回数(回)	147	<b>221</b>	200	200	200
			9	図書館の利用環境が整っていると感じる市民の割合(%)	87.6	<b>77.7</b>	増加	増加	増加

目指す姿	方向性		成果指標		2022 実績	2024 実績	2026 目標	2029 目標	2032 目標
読書により学びと交流が広がる図書館	1	すべての市民が読書に親しみ、知的好奇心を満たせる取組を行います。	10	市民の図書館利用登録率(%)	39.5	<b>42.5</b>	43.0	46.5	50.0
			11	読書が「好き」「とても好き」と感じる市民の割合(%)	47.2		48.1	49.1	50.0
	2	地域や家庭など、一人ひとりに合わせた活躍の機会を提供・応援するとともに、交流が生まれるきっかけづくりを行います。	12	市民の活動の場の提供回数(回)	253	<b>124</b>	259	264	270
多彩な暮らしを支える図書館	1	暮らしや趣味、仕事、地域の課題に役立つ幅広い情報を発信します。	13	講座参加者の満足度(%)	-	-	増加	増加	増加
			14	調べもので図書館を利用した市民の割合(%)	32.2		33.0	34.0	35.0
	2	すべての市民に情報探索・活用の支援を行います。	15	図書館活用講座の実施回数(回)	1	<b>4</b>	4	4	4
			16	図書館活用講座の参加人数(人)	6	<b>75</b>	50	50	50
			17	情報探索支援ツールの作成件数(件)	5	<b>3</b>	5	5	5
挑戦し進化する図書館	1	社会変化に対応しうる新たな図書館サービスの創出に挑戦していきます。	18	メディアに取り上げられた回数(回)	204	<b>133</b>	200	200	200
			19	公民館や地域と連携した企画事業実施回数(回)	30	<b>24</b>	35	35	35
			20	公民館や地域と連携した企画事業で初めて来館した人数(人)	-	-	45	45	45
	2	市民や様々な団体・機関と積極的に連携することで、新たな価値を生み出し、市民に提供します。	21	他機関と連携し行った展示・テーマブックス・講座の開催回数(回)	128	<b>57</b>	120	120	120
			22	新たに連携した機関や団体数(件)	1	<b>12</b>	2	2	2

読書大好き 塩尻っ子プランⅢ（第3次塩尻市子ども読書活動推進計画）

数値目標の内容	現在の数値（R3）	現在の数値（R4）	現在の数値（R5）	現在の数値（R6）	目標数値（R7）
① 学校図書館や地域の図書館の利用の割合※[1]					
児童数の割合（小6年）	—	—	72.00%	—	85%
生徒数の割合（中3年）	—	—	54.20%	—	60%
② 1日に読書をしている児童数の割合※2（小6年）	79.60%	75.30%	82.00%	—	90%
生徒数の割合（中3年）	71.10%	71.40%	74.50%	—	85%
③本と子どもをつなぐ事業への参加者数	6,339人	9,055人	10,625人	9,605人	10,000人
おはなし会	2,567人	4,277人	4,579人	4,352人	
おはなしプレゼント	994人	1,069人	1,293人	533人	
その他	2,778人	3,709人	4,753人	4,720人	
④「こんにちは絵本」（ブックスタート）の配布率	99%	98%	98%	98%	100%
「なかよし絵本」（セカンドブック）の配布率	97%	99%	100%	100%	100%
⑤子どもの読書環境の数値 団体貸出数	38,294冊	38,184冊	45,096冊	42,287冊	45,000冊

※[1] ①は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」による数値。

質問事項の「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」による

※令和3・4年度は①の質問事項がないため、数値なし

※2 ②は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」による数値。

質問事項の「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」による

※令和6年度は「全国学力・学習状況調査」の項目が変更となり該当項目の設定がなかったため、①②の数値なし。

## 令和6年度 塩尻市教育委員会会議等記録

### 1. 教育委員

氏名	任期	
赤羽高志	教育長	令和4年6月27日～令和7年6月26日
碓井邦雄	教育長職務代理者	令和6年6月26日～令和10年6月25日
徳武あゆ子	委員	令和3年7月1日～令和7年6月30日
甕剛	委員	令和4年9月12日～令和8年9月11日
八島思保	委員	令和5年6月26日～令和9年6月25日

### 2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案件	
4月25日	4月定例	報告案件	塩尻市人権同和教育集会所運営委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			令和6年度長野県公立高等学校入学者選抜の結果<非公開>
			令和5年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
			令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>
5月23日	5月定例	報告案件	塩尻市社会教育委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市人権教育指導員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市立図書館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻短歌館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			檜川地区文化施設協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
		議事案件	塩尻市人権教育推進委員の委嘱について
6月27日	6月定例	報告案件	学校運営協議会委員の解任及び補欠委員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市中学校部活動地域移行等協議会委員の解任及び補欠委員の任命に係る専決処分報告について
			塩尻市教育支援委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について
		議事案件	塩尻市部活動地域移行計画（案）について
7月25日	7月定例	報告案件	塩尻市議会6月定例会報告
			塩尻市歴史的風致維持向上計画の認定について
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
		塩尻市教育振興審議会委員の解嘱について	
		議事案件	学校職員の指導上の措置について<非公開>
その他案件	第38回全国短歌フォーラムin塩尻投稿数について		

期日	会議	案 件	
8月20日	8月定例	報告案件	市議会 7月臨時会報告 市民交流センター大規模改修工事に伴う休館等について
		議事案件	令和7年度から使用する中学校の教科用図書の採択について <期間限定非公開>
		その他案件	令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
9月26日	9月定例		
10月24日	10月定例	報告案件	市議会 9月定例会報告
		議事案件	塩尻短歌館冬期平日の休館について
			塩尻市教育振興審議会委員の委嘱について 令和6年度(2024年度)全国学力・学習状況調査の結果について
11月21日	11月定例		
12月26日	12月定例	議事案件	学校職員の指導上の措置について<非公開>
			塩尻市教育委員会等の公印規則の一部を改正する規則
1月30日	1月定例	報告案件	塩尻市議会 12月定例会報告
2月20日	2月定例	その他案件	令和6年度教育委員会関係補正予算(案)について<期間限定非公開>
			令和7年度教育委員会関係予算(案)概要<期間限定非公開>
3月21日	3月定例	報告案件	市議会 3月定例会報告
			令和7年度塩尻市立学校の休業日に係る専決報告について
			教育委員会事務局 4月1日付人事異動について
		議事案件	塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について
			塩尻市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則 塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令 学校職員の指導上の措置について<非公開>
その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について <期間限定非公開>		

### 3. 協議会

期日	協議事項
4月25日	令和5年度中学校卒業生進路状況について
	令和5年度の教育委員会活動について
	教育委員の任命について
5月23日	令和5年度小学校卒業生の進路状況について
	人権擁護審議会委員の推薦について
6月27日	出口クリスタ選手及び出口ケリー選手のパリ五輪壮行会について(予定)
	塩尻市要保護児童対策地域協議会代表者会議について(報告)
	不登校対応検討委員会より(令和5年度の不登校児童生徒数等)
	夏休み中の教育センター研修講座について 総合教育会議の議題について
7月25日	総合教育会議について
8月20日	

期日	協議事項
9月26日	不登校対応検討委員会からの報告 令和6年度 全国学力学習状況調査 結果と考察について 令和6年度 夏の研修講座の報告 教育委員研修について
10月24日	
11月21日	教育委員会自己点検・評価について
12月26日	広丘公民館「補習塾」について 教育委員会自己点検・評価について
1月30日	塩尻市こども計画案について（こども未来課） 塩尻市子ども・子育て支援事業計画（案）について（保育課） 令和7年度教育委員会開催日程について
2月20日	部活動地域移行の現時点の状況について
3月21日	塩尻市社会教育推進計画について 塩尻市の不登校について 令和6年度の教育委員会活動について

#### 4. こんにちは教育委員会

- 11月15日 檜川小中学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談  
1月31日 宗賀小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談

#### 5. 教育委員研修

- 11月14日 長野市教育支援センター SaSaLAND 教育委員研修視察

#### 6. 諸表簿・施設等点検

- 11月22日 吉田小学校  
11月26日 塩尻中学校  
11月26日 広丘小学校

#### 7. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
3月15日	家庭支援課（こども未来課）	ひきこもり講演会
3月16日	塩尻短歌館	塩尻短歌館 春待ちコンサート
3月23日	図書館	でんしゃのおはなし会
3月23日	図書館	岡本雄司ギャラリートーク
3/9～3/31	図書館	企画展「岡本雄司絵本原画展 『いろんなでんしゃはっしやしまーす!』」
4/19～4/20	市民交流センター	まつせん和紙てまりワークショップ
4月20日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第1回「がんはどうしたら見つかるの?」
4月21日	平出博物館	妙義山城を歩く
4月23日	図書館	えんぱーくDVD鑑賞会 「天井桟敷の人々 第1部犯罪大通り」
4月25日	図書館	ビジネス情報相談会・ミニセミナー 「補助金・助成金もらえるお金、最新情報!」

期日	担当課	行事名
4月27日	図書館	絵本「こどりのデパート」作者 まるやまあやこ×荻田澄子ミニギャラリートーク
4月27日	自然博物館	塩嶺小鳥の森探鳥会
4月27日	図書館	読書週間 スペシャルおはなし会
5月11日	平出博物館	学芸員に聞こう 今月のテーマ「企画展示解説」
5月12日	社会教育スポーツ課	第36回ファミリースポレクフェスティバル
4/13～5/12	図書館	まるやまあやこ絵本原画展「こどりのデパート」
4/15～5/12	図書館	江口みつおき詩画集原画展「風の伝言」
5月19日	市民交流センター	こども絵画造形教室エカキッズ ～箱の中に楽しい世界をつくろう！～
5月19日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 開講式・福島泰樹さん講演会 「短歌絶叫 あなたはそんなにパラソルを振る」
5月22日	社会教育スポーツ課	ティータイムに短歌をつくろう
5月25日	図書館	しおり部
5月26日	市民交流センター	ちびてつ2024～ちびっことてつがく～①
5月26日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 落合恵子さん講演会 「自分を生きる-いまから、ここから、あなたから-」
5月27日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 是住久美子さん講演会 「人口減少時代の図書館サービス-協働によるまちづくり-」
5月28日	図書館	えんぱーくDVD鑑賞会 「天井桟敷の人々 第2部 白い男」
5月30日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「2時間で完成ホームページ作成講座」
6月1日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター開講式
6月2日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 大友剛さん「マジックと音楽と絵本のコンサート」
4/27～6/2	平出博物館	企画展「田川流域の弥生文化」
6月9日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター②、③
5/16～6/9	図書館	企画展示 ワイン展示
6/7～6/9	社会教育スポーツ課	令和6年度塩尻市民文化祭
5/16～6/11	図書館	企画展示 木曾漆器展
6月16日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 山本一力さん講演会「生き方雑記帖2024」
6月16日	学校教育課	こども未来塾「小学生リーダー研修」
6月20日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「2時間で完成ホームページ作成講座」
6月23日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター④
6月27日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「Googleビジネスプロフィール活用講座！」
6月29日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第2回「保健室の先生に聞くがんのこと」
6月29日	社会教育スポーツ課	信州やまなみ国スポに向けた競技力向上及び指導力向上練習会 (バドミントン競技)
6月30日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター⑤、⑥
6/10～6/30	図書館	写真・原画展 「広げよう『里親』の輪 里親ってなあに？」
6/29～6/30	市民交流センター	tent～学校とはちょっとちがうまなび～
6/4～7/4	市民交流センター	eri～Silent letter～展2 (壁柱利用促進事業)
7月6日	社会教育スポーツ課	出口クリスタ選手・出口ケリー選手 2024パリ五輪女子柔道出場壮行会
7月6日	中央公民館	五感で感じる木曾漆器第1回 産地を訪ねる
7月6日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター⑦
7月7日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 中川ひろたかさん講演会「ぼくが作った歌と絵本」
7月7日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第134講 米川千嘉子氏による歌評

期日	担当課	行事名
5/3～7/7	塩尻短歌館	塩尻短歌館 春の企画展 「今起きている短歌ブームとは ～令和に繋げ！短歌の里（ふるさと） しおじりの未来～」
7月7日	社会教育スポーツ課	第17回塩尻市民音楽祭【管弦楽発表】
7月13日	保育課（子育て支援センター）	家族でおいでおいでまつり2024
7月14日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 亀山郁夫さん講演会「ドストエフスキーとロシア的悲劇の根源」
7月15日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 第9期目指せ！図書館マスター⑧
7月18日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「LINE公式アカウント開設講座」
7月21日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 本ができるまでツアー 美篤堂
7月28日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 宮本えつよしさん講演会 「絵本作家は楽しい」
7月28日 29日	社会教育スポーツ課	出口クリスタ選手・出口ケリー選手 2024パリ五輪柔道女子 パブリックビューイング
7/16～7/30	図書館	企画展 広報しおじり展
7/1～7/31	社会教育スポーツ課	SNSミニ短歌コンテスト「しおじり七夕短歌コンテスト」
8月3日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 図書館マスターステップアップ講座
8月4日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 加藤陽子さん講演会 「超長寿時代の平和と戦争を考えるために一全ての世代の立場から」
8月4日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第135講 小池 光氏による短歌講座「こういう歌がいい」
8月4日	平出博物館	親子でオリジナル縄文土器づくり講座
8月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 青木いず美さん講演会 「GIGAスクール時代の学校図書館ー小さな小学校の司書教諭の実践ー」
8月11日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 伊藤純郎さん講演会 「桔梗ヶ原の青春ー大陸の花嫁と女子拓務訓練所ー」
8/4～8/14	塩尻短歌館	短歌の里 広丘夏まつり 第8回灯籠短歌大会
8月14日	社会教育スポーツ課	出口姉妹パリオリンピック出場 市長表敬訪問及び祝賀凱旋パレード
8月22日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー「創業・副業 開始準備セミナー」
7/24～8/23	中央公民館	夏休み期間における 各公民館の取り組み
7/20～8/25	自然博物館	特別企画展「夏休みの昆虫展・昆虫の写真展」
8月25日	平出博物館	洗馬歴史講演会「信州の寺子屋ー教育県・長野の源流ー」
7/26～8/28	塩尻短歌館	塩尻短歌館 書道展
7/29～8/30	市民交流センター	中村 聡 絵画展（壁柱利用促進事業）
8/2～8/31	市民交流センター	塩尻市観光情報シアター上映（壁柱利用促進事業）
8月12日 8月31日 9月1日	市民交流センター	おでかけえんぱーくinチロルの森
8/8～9/1	図書館	出張図書館inチロルの森
9月8日	塩尻短歌館	塩尻短歌大学 第136講 大辻隆弘氏による短歌講座「言葉の細部を読む」
9月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 三浦英之さん講演会「日本という国家の幻影を追って」
9月8日	社会教育スポーツ課	塩尻市民音楽祭 コーラス発表
9月15日	自然博物館	第53回自然科学講座 「きのこの分類と生態について」
9月22日	平出博物館	第21回ひらいで遺跡まつり
9月28日	市民交流センター	大門ウォークvol.3～まちなかクイズラリー～
9月28日	平出博物館	第1回土曜サロン「下宅部遺跡から分かった縄文人と漆の関係」
9月28日	図書館	しおり部
9月28日 9月29日	社会教育スポーツ課	第17回塩尻市民音楽祭 バンド発表

期日	担当課	行事名
9月29日	平出博物館	第1回平出歴史大学 「縄文海進と人間の対応ー黒浜貝塚を中心にー」
10月5日	図書館	みんなのがん教室@図書館 第4回「がんの治療はどうするの？」
10月6日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 富岡幸一郎さん講演会「島崎藤村の『夜明け前』を読む」
10月6日	社会教育スポーツ課	松本山雅ドリームフェスティバルin塩尻2024
10月 8日 10月10日 10月11日	図書館	学校巡回ものがたりライブ 片丘小学校・広丘小学校
10月12日	図書館	しおり部
10月20日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 松本猛さん講演会 「ちひろ没後50年ー絵本史のなかのいわさきちひろー」
10月24日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「Canva 使い方セミナー」
10/16～ 10/27	図書館	いわさきちひろ複製画展 「ちひろの世界」
10月27日	学校教育課	こども未来塾 「小学生リーダー研修」
10月30日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 古田晁記念館文学サロン 第一部 西村亨さん講演会 「恥ずかしさを乗り越えて、内側の幸福に目を向けて生きる」 第二部 永江朗さん講演会 「筑摩書房と古田晁と信州と」
10月30日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 古田晁記念館文学サロン 「記念館見学&墓参ツアー 滂沱忌」
11月2日 11月3日 11月4日	社会教育スポーツ課	塩尻市民秋の文化祭
11月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 関川夏央さん講演会 「司馬遼太郎『坂の上の雲』の方法と、それが書かれた時代」
11月16日	社会教育スポーツ課	しおじりたんかのかい
11月17日	社会教育スポーツ課	佐佐木頼綱短歌講演会 「先輩歌人が教えてくれた短歌上達アドバイス」
11月22日	社会教育スポーツ課	短歌の里 みてある記
11月23日	図書館	中学生・高校生ビブリオバトル2024 長野県大会
11月24日	図書館	和綴じ本をつくろう
11月27日	こども未来課	テーマ型タウンミーティング みんなで語ろう♪しおじりの子育て
11月30日	こども未来課	元気っ子講演会
11月30日	自然博物館	自然博物館協会会員研修会「青木ヶ原樹海の変遷と利用の歴史」
11月30日	社会教育スポーツ課	青少年健全育成イベント「松本山雅キッズスポーツ教室」
11月30日	図書館	しおり部
12月1日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 ねじめ正一さん講演会 「小説『高円寺純情商店街』から絵本『ゆかしたのワニ』まで」
11/2～12/1	平出博物館	ミニ企画展「平出博物館開館70周年記念展」
12月8日	社会教育スポーツ課	第17回塩尻市民演劇フェスティバル
12月14日	自然博物館	第54回自然博物館自然科学講座「活断層大地震に備える」
12月15日	平出博物館	第2回平出歴史大学 「顔がついた縄文土器 ー顔面把手の成立と展開ー」
12月21日	図書館	しおり部
10/2～ 12/27	塩尻短歌館	塩尻短歌館 秋の企画展 【展示】 「塩尻短歌館収蔵品展 ～島木赤彦と伝田青磁～ ～広丘ゆかりの歌人と百瀬重雄氏～」 【交流会（特別企画）】 「短歌愛好者の集い」 11月30日（土）
1月7日	社会教育スポーツ課	令和7年塩尻市新春書き初め会
1月12日	社会教育スポーツ課	令和7年塩尻市二十歳のつどい
1月21日	図書館	ロマン大学「図書館活用講座」

期日	担当課	行事名
1月25日	平出博物館	平出遺跡公園ライトアップ ナイトミュージアム「遺跡を彩る光の旅」
1月26日	図書館	しおり部
2月1日	図書館	えんぱーく リニューアルオープンイベント 「ゆでたかのさんとなぞとき」
2月2日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 火ノ鹿たもんさんワークショップ 「マンガを体験しよう！知る！描く！学ぶ！」
2月1日 2日	市民交流センター	えんぱーく リニューアルオープンイベント
2月1日 2日	図書館	しおり部「ききょう満開スタンプラリー」
2月2日	塩尻短歌館	第30回短歌の里百人一首大会
2月8日 9日	市民交流センター	第9回こどもだけの街 「こどもしおじり」
2/13～2/25	社会教育スポーツ課	しおじり短歌展
2月16日	市民交流センター	こども絵画造形教室エカキッズ② ～紙ねんどでモンスタースイーツをつくろう！～
2月16日	平出博物館	新平出博物館ワークショップ
2月23日	図書館	信州しおじり本の寺子屋特別企画 映画「editor. O」鑑賞会
2月27日	図書館	ビジネス情報相談会ミニセミナー 「Instagramで売上アップ！ビジネス活用の成功戦略」
3月1日	レザンホール	しおじりまちづくりフェスティバル2024
3月1日 2日	社会教育スポーツ課	NHKのど自慢予選・本選
3月8日	広丘図書館北部交流センター	えんてらす100万人達成スペシャルデー 記念おはなし会 「塩尻駅員さんとでんしゃのおはなし会」 記念セレモニー・記念グッズ抽選会
3月9日	図書館	児童劇映画「蜂の子」鑑賞会

#### 7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
5月号	5	保育課 (子育て支援センター・ 北部子育て支援センター)	表紙の写真「第2子以降の保育料などの無償化がスタート！」 特集「塩尻の子育て支援ー第2子以降の保育料などの無償化ー」
6月号	2	学校教育課	一人で悩んでいるあなたへ～らしく学び、らしく生きる（塩尻市の不登校支援）～
8月号	5	保育課	表紙の写真「地域を支える保育施設」 特集「地域型保育施設という選択」
8月号	2	市民交流センター	より災害に強い建物へ～えんぱーく大規模工事スタート～
11月号	2	学校教育課	子どもの願いをかなえる環境づくりとは～部活動地域移行を考える～
12月号	3	学校教育課	特集「地域とともに学校をつくる」
12月号	1	学校教育課	全国学力・学習状況調査
1月号	1	社会教育スポーツ課	第38回全国短歌フォーラムin塩尻入賞作品



---

---

**令和 7 年度**  
**教育委員会自己点検・評価報告書**

令和 8 年 3 月

塩尻市教育委員会  
(塩尻市こども教育部学校教育課)

長野県塩尻市大門七番町 4 番 3 号  
電話 (0263) 52-0280 (代)  
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>

---

---